

**令和 4 年度全学教育科目**  
**学生による授業アンケート報告書【集計結果分析編】**  
(令和 4 年度第 1 学期及び第 2 学期)

1. 令和 4 年度のアンケートについて
2. アンケートの実施方法
3. 各教員あて通知内容
4. アンケート用紙の様式
5. 調査対象の解析
6. アンケート結果と解析
7. 総合評点の度数分布
8. 分析のための全体集計

## 1. 令和4年度授業アンケートについて

本学は、授業内容や教育方法の改善の組織的活動の一環として、平成11年度より毎年学生による「授業アンケート」を全学的に実施し、その結果を公開している。平成15年度までは冊子体の報告書（年次報告書に掲載）を刊行した。平成16年度からホームページ上でのみ公開している。平成18年度第2学期から、一部設問を変更し16の設問によるアンケートが用いられている<sup>(注1)</sup>。平成24年度には、授業アンケートの実施方法等を見直し、全学教育科目については高等教育推進機構で、学部専門科目については各学部において、それぞれの特性を考慮した独自の授業アンケートを実施している。さらに平成25年度からは、無作為に抽出された一部の科目に対し、「汎用的能力」に関する追加設問を試験的に依頼してきたが、平成29年度の調査からは教養科目（コアカリキュラム）を担当する全教員に依頼している。平成30年度第1学期には20科目でスマートフォン（あるいはPC）によるアンケート（以下、Webアンケートとする）を試行し、第2学期には全科目でWebアンケートを実施した。令和4年度も継続して全科目でWebアンケートを実施した。

平成30年度のWebアンケートでは、教員の指示の有無に関わらず入力できるように設定したため、教員がアンケート実施を意図しない場合もアンケートに回答しているケースがあることが集計後に判明した。そのため、回答率が20%以上の授業を集計の対象とした。令和元年度～令和3年度の調査では、同基準とあわせて、教員からのアンケート回答指示の有無を確認する設問を設けて判別できるようにした。しかし、依然として結果の不一致がみられたり、教員の意向の確認を求める声があったりしたことから、令和3年度は、回答指示の有無に関する設問と回答率（20%以上）に加えて、教員の意向（教員からアンケートを実施しない旨連絡があった授業を集計の対象から除く）に基づき判断することにした。令和4年度は、前年度から直接教員にアンケート実施に関する意向を確認することになり、回答指示に関する設問を設ける必要がなくなったことから、本設問を削除し、教員の意向の確認と回答率により集計対象とする授業を決定することになった。

本報告は、高等教育推進機構で令和4年度第1学期と第2学期に実施された全学教育科目における「授業アンケート」の結果をまとめたものである。両学期を合わせたアンケート実施総授業数は806（非常勤講師を含む）であり、延べ18,243名の学生から回答を得た。アンケート結果は授業担当者だけでなく、部局長にもフィードバックし、教育効果の検証を組織的に行い、授業改善のための資料となっている。また、平成26年度実施分から、授業アンケート結果を受けて各教員が改善した事項等について、各教員および科目責任者からの報告をまとめて本学ホームページ（学内限定）に公表している。

## 1.1 回答結果の概要

以下に、令和4年度調査結果の概要を示す。

### ■調査実施概要

各教員に、令和4年度に担当している授業科目のうち、適切な一つ以上の科目を選択し、調査を実施するよう依頼した。令和4年度第1学期および第2学期は、非常勤講師を含む担当教員697名中492名が調査を実施し、実施率は70.59%（括弧内は同令和3年度、令和2年度、令和元年度、平成30年度の調査結果を順に記載：65.36%、78.29%、80.92%、81.03%）であった。本学教員の実施率は71.45%（67.02%、79.10%、82.18%、82.46%）、非常勤講師の実施率は66.67%（57.02%、74.34%、74.56%、73.15%）である。本学教員の実施率は、令和3年度に大幅に減少したが（それまでは80%前後を推移していた）、令和4年度は増加に転じている。非常勤講師の実施率についても、令和3年度に大幅に減少したが、令和4年度は大幅に増加した。非常勤講師数は減少傾向にあったが（平成24年度が150名であったのに対し、令和3年度は114名）、令和4年度は微増した。全学教育を本学の教員のみで担当するようになってきている傾向に大きな変化はない。アンケートを実施した授業総数は806（729、830、820、806）で、担当教員あたりの延べ回収率は115.64%（106.11%、124.25%、116.09%、114.98%）であった。非常勤講師の担当教員あたりの延べ回収率は、前年度100.00%に対して、今回は121.43%であり、実施率は前年度57.02%に対して今回は66.67%となった。

### ■総合評価評定平均値

総合評価は平成23年度まで、学生の行動に関する設問11～13（出席率、授業への積極的な参加、自習時間）を除いた設問1～10、設問14～16までの評定値の平均を指標としていたが、設問3（授業で要求される作業量）と4（授業の難易度）は、1.3節で後述するように、授業の質の直接的な評価とはならないので、平成24年度から除外している。また、設問14（シラバスの達成目標の達成度）も平成24年度より5段階評価から達成割合を定量的に回答するよう変更したので除外している。結果として、総合評価は、設問1～2、5～10、15～16の5段階評価平均値を指標としている。令和4年度の総合評価全体平均は4.12であった。平成29年度以降、今回の調査までの6年間の全体平均値は、4.12、4.11、4.02、4.01、4.09、4.12と推移し、今回の平均値は前年度に比べ0.03ポイント増加した。

### ■科目別評定平均値

科目別の平均値は、高い順に演習科目（4.39 [前年度：4.37]）、外国語科目（4.28 [4.20]）、選択科目（4.24 [4.24]）、講義科目（4.06 [4.03]）、必修科目（4.02 [3.95]）となっている。外国語科目と選択科目の順番が入れ替わっているのが今回の特徴であり、前年度と同じポ

イントの選択科目を除き、すべての科目区分において、平均値が増加している。なお、講義科目と必修科目の平均点が相対的に低くなる原因は、他の科目に比べてクラスサイズが大きい授業が多く、また、必修科目には難易度の高い数学・物理などの理系基礎科目が含まれているためと考えられる。

### ■肯定的回答の経年変化と科目別回答傾向

各設問の回答選択肢の上位2項目（「強くそう思う」と「そう思う」）を合わせた回答比率（項目番号4, 11, 13, 14については、表中の説明どおりの集計結果）を表1に示した。今回の結果に加えて、「全体」についてはそれ以前の4年分の結果も示した。また、表の右端には、各設問の「全体」の経年変化を模式的に示した（表の並びと同じく右から左へ平成30年度から令和4年度を示す）。昨年度から大きく変化した項目があることがわかる。

『授業について』のカテゴリーは、前年度に比べて3ポイント減少した「授業の難易度を『C:適切』と回答した学生の割合」を除き、肯定的回答の割合が他のカテゴリーよりも高い水準を維持しているといえる。問1～問3については、問2と問3が前年度とほとんど変わらない（微増・微減した）のに対し、問1は0.8ポイント減少したが、平成29年度から令和3年度までの5年間一貫して増加しており、その傾向に大きな変化はみられない。

『授業方法、教員の行動』は、問5と問7が前年度に比べて減少しているが、過去5年間（平成30年度～令和4年度）でみると全体的に増加傾向を維持しているといえる。特に、「黒板、教科書、プリントやAV機器等の効果的利用」と「教員の熱意が伝わってきた」は、それぞれ3.4ポイント、3.0ポイント増加しており、他のカテゴリーも含めた全項目の中で最も増加の幅が大きかった。『学生の行動』は、問12が増加したのに対し、問11と問13は減少した。過去5年間でみると、「自分はこの授業に積極的に参加した」が増加傾向にある一方で、「授業一回あたりの学習時間（3時間以上）」は年度によって大きな変化がみられる。『教育効果』は、問14が微増したのに対し、問15と問16は減少した。「授業は全体として満足できるものだった」と「知的に刺激され、深く勉強したくなった」については、平成29年度から令和3年度までの5年間一貫して増加傾向にあったことから、過去5年間でみると全体的に増加傾向を維持しているといえる。今回の結果の全体的な特徴は、前年度に比べて肯定的回答の割合が減少した項目が増えたが、過去5年間でみると一貫して増加傾向にある項目が多い点にある。

科目別に比較すると、授業全体の満足度（設問16）の高い科目は演習科目（93.9%）や選択科目（89.5%）、満足度の低い科目は講義科目（81.8%）や必修科目（79.3%）であり、前年度に比べて選択科目のポイントが減少したものの、例年と同様の傾向である。演習科目と講義科目における授業方法と教員の行動に関する設問では、6項目中5項目において10ポイント以上の差をつけて演習科目のほうが高くなっている。そのうち、アクティブ・ラーニングの要素のひとつである「教員は効果的に学生参加を促した」については、27.0ポイントの差がある。講義科目や必修科目については、アクティブ・ラーニングのような双方向の

授業に向かない科目もあると考えられ、これらの差を縮めることが正しいとは一概にはいえない。しかし、学生の行動の数値にも差が表れており、「自分はこの授業に積極的に参加した」の肯定的回答の割合も演習科目と講義科目の間に 20.1 ポイントの差がある。演習科目の要素の一部を講義科目に導入するなど授業方法に小さな工夫を加えることにより、学生がより積極的に授業に臨むことができるようになる可能性を示す結果であると考えられる。

設問ごとの回答割合の高低の傾向は例年と同様である。『教育効果』について、「私はシラバスの到達目標を達成できた（8割以上）」は、全体で 58.4%だったのに対して、比較的満足度の高い演習科目では 72.3%だった。そのため、演習科目のほうが授業への積極性と達成度が高い傾向にあることがわかる。また、「知的に刺激され、深く勉強したくなった」は、全体で 73.9%、演習科目で 86.7%だった。他の専門分野や文化に触れる機会をもち、異なった価値観があることを理解すると同時に、多様な発想と感性を磨くことによって、豊かな創造力が生み出されることが期待される全学教育においては、この数値のさらなる向上が望まれるところである。

表 1 授業タイプ別「強くそう思う」と「そう思う」を選んだ学生の比率 (%)

カテゴリ	項目番号	内容	講義科目	演習科目	必修科目	選択科目	外国語	全体 (R4)	全体 (R3)	全体 (R2)	全体 (R1)	全体 (H30)
授業について	1	目標、内容、評価方法を明快に示した	91.3	95.4	90.2	94.2	93.7	92.1	92.9	90.5	87.8	86.1
	2	授業はシラバスにそって行われた	92.4	95.9	91.7	94.6	93.8	93.1	92.9	90.7	88.3	86.5
	3	レポート等の作業量は適切だった	84.5	89.4	83.3	87.8	87.3	85.4	85.6	83.2	83.2	81.2
	4	授業の難易度を「C適切」と回答した学生の割合	56.4	68.0	53.1	64.9	64.1	58.6	61.6	62.1	58.6	55.7
授業方法、教員の行動	5	教員の説明はわかりやすかった	75.3	90.0	73.3	83.4	85.9	78.0	78.8	75.7	74.2	75.9
	6	教員の熱意が伝わってきた	82.9	93.6	80.0	90.4	89.5	84.8	81.8	79.9	81.1	81.3
	7	教員の話し方は聞き取りやすかった	80.3	90.8	77.1	88.0	87.1	82.2	83.5	80.9	78.5	79.0
	8	教員は効果的に学生参加を促した	63.9	90.9	65.5	72.9	88.4	69.0	69.0	65.4	65.2	66.4
	9	教員は学生の質問・発言等に適切に対応した	80.0	92.3	80.4	84.3	89.2	82.2	82.3	79.2	77.6	79.0
	10	黒板、教科書、プリントやAV機器等の効果的利用	86.0	92.7	84.5	90.3	88.6	87.2	83.8	79.9	81.7	80.9
学生の行動	11	この授業の出席率(80%と100%の合計)	95.8	98.2	95.7	96.8	96.8	96.2	97.5	98.0	96.7	94.8
	12	自分はこの授業に積極的に参加した	63.7	83.8	64.6	70.7	78.6	67.5	66.4	66.8	62.4	59.4
	13	授業一回あたりの学習時間(3時間以上)	8.6	10.4	10.3	7.4	9.0	8.9	10.4	16.2	7.9	12.7
教育効果	14	私はシラバスの到達目標を達成できた(8割以上)	55.3	72.3	54.0	63.5	65.4	58.4	58.1	59.1	54.9	49.9
	15	知的に刺激され、深く勉強したくなった	71.1	86.7	67.8	80.9	78.9	73.9	74.6	74.4	70.5	69.1
	16	授業は全体として満足できるものだった	81.8	93.9	79.3	89.5	89.0	84.0	84.6	82.5	79.2	78.4
回答人数(人)			14,875	3,366	9,747	8,496	4,506	18,243	15,587	17,932	25,574	26,704

※項目 4, 11, 13, 14 については、それぞれの内容にあるとおりの集計を行っている。

## ■授業 1 回あたりの授業外学修時間

授業 1 回あたりに費やした授業外学修時間（設問 13）は、「30 分以下」が 36.20%（括弧内は同令和 3 年度、令和 2 年度、令和元年度、平成 30 年度の調査結果を順に記載：27.24%、21.73%、45.91%、39.9%）、「1 時間」が 38.52%（40.56%、36.80%、32.59%、30.8%）、「2 時間」が 16.36%（21.77%、25.31%、13.64%、16.6%）、「3 時間」が 5.75%（6.95%、10.95%、4.79%、6.7%）、「4 時間以上」が 3.17%（3.48%、5.21%、3.08%、6.0%）で、前年度の調査と比較すると、「30 分以下」が増加し、「1 時間」、「2 時間」、「3 時間」、「4 時間以上」が減少している。授業外学修時間の平均（注 2）は、1.10 時間（1.26 時間、1.46 時間、0.98 時間、1.18 時間）であり、令和 2 年度に大幅に増加した後、減少が続いている。なお、令和 2

年度に大幅に増加したのは、コロナ禍により自宅学習時間が増加したことが関係していると考えられる。一方、令和元年度の減少の理由は不明である。大学 IR コンソーシアムの調査結果においても減少しており、設問の不具合等によるものではない。

平成 29 年度以降の必修／選択科目別とクラスサイズ別の授業外学修時間を表 2 に示した。令和 4 年度は、必修科目は 1.21 時間、選択科目は 0.97 時間となっている。前年比で、両者とも減少しており、それぞれ 11.4 分、7.2 分の減少であった。必修科目と選択科目の差は 14.4 分であり、前年の 18.6 分から若干差が縮まった。クラスサイズ別では、25 人以下のクラスで 1.17 時間、26 人から 50 人で 1.19 時間、51 人から 100 人で 1.11 時間、101 人から 200 人で 1.08 時間、201 人以上で 0.80 時間であった。表 2 の下端に、各分類における授業外学修時間の経年変化を模式的に示している（左から右へ平成 30 年度から令和 4 年度を示す）。令和元年度にすべての分類で過去にない減少がみられ、令和 2 年度はそれとは逆にすべての分類において大幅な増加がみられたが、その後は減少傾向にある。

表 2 必修／選択別，クラスサイズ別授業外学修時間（単位：時間）

年度	必修／選択別		クラスサイズ				
	必修	選択	25人以下	26～50人	51～100人	101～200人	201人以上
平成30年度	1.43	1.02	1.26	1.20	1.21	1.19	0.94
令和元年度	1.15	0.86	1.14	1.08	0.97	0.99	0.67
令和2年度	1.67	1.24	1.48	1.51	1.63	1.31	1.05
令和3年度	1.40	1.09	1.34	1.21	1.32	1.19	1.02
令和4年度	1.21	0.97	1.17	1.19	1.11	1.08	0.80

授業形態<sup>(注3)</sup>別の授業外学修時間を表 3 に示した。外国語の授業外学修時間が最も長く、演習、講義の順に短くなっている。

表 3 の下端には、各授業形態における授業外学修時間の経年変化を模式的に示した（左から右へ平成 30 年度から令和 4 年度を示す）。どの授業形態においても、令和元年度の減少からの令和 2 年度の大規模な増加が目立つ結果となっており、その後は全体的に減少している。

表 3 授業形態による授業外学修時間（単位：時間）

科目区分 授業形態	全学教育科目		
	講義	演習	外国語
平成30年度	1.16	1.32	1.31
令和元年度	0.97	1.09	1.13
令和2年度	1.46	1.49	1.44
令和3年度	1.24	1.32	1.27
令和4年度	1.09	1.17	1.20

授業外学修時間に関する設問は、平成 18 年度第 1 学期の授業アンケート実施分から、単位の実質化の進展状況を把握する指標のひとつとして導入し<sup>(注4)</sup>、調査を継続している。授業外学修時間の推移を表 4 に示す。過去 5 年間は、0.98 時間から 1.46 時間の間で推移している。回答者の比率をみると、1 時間以下が増加し、その分 2 時間、3 時間および 4 時間以上が減少している。なお、平成 18 年度以降、長期的な授業外学修時間の経年変化については、高等教育推進機構ニュースレター No.112<sup>(注5)</sup> に詳細が掲載されている。

表 4 授業外学修時間の推移（全学教育科目）

	回答者の比率(%)				授業外学修 時間平均値
	1時間以下	2時間	3時間	4時間以上	
平成30年度 (1学期・2学期)	70.6	16.6	6.7	6.0	1.18
令和元年度 (1学期・2学期)	78.5	13.6	4.8	3.1	0.98
令和2年度 (1学期・2学期)	58.5	25.3	11.0	5.2	1.46
令和3年度 (1学期・2学期)	67.8	21.8	7.0	3.5	1.26
令和4年度 (1学期・2学期)	74.7	16.4	5.8	3.2	1.10

### ■文系／理系別総合評点

今回の調査の総合評点（設問 1～2, 5～10, 15～16 のアンケート回答数全体の平均値）は、4.23 であった。平成 24 年度に 4.01 と初めて 4.00 を超えて以来、その値は毎年ごくわずかに上昇していった。過去 5 年間では、平成 30 年度は 4.25, 令和元年度は 4.17, 令和 2 年度は 4.09, 令和 3 年度は 4.16 であり、今回は前年度に比べて微増した。

表 5 には、非常勤講師が担当する授業を除外した（非常勤講師担当の授業は文系／理系に区分されておらず、「非常勤講師」とだけ分類されているため）科目ごとの総合評点をもとに分析した過去 5 年分の結果を示した。前年度と比較すると、全体的に評点はわずかな増加であった。今回、文系科目 4.30 に対して、理系科目は 4.12 であり、文高理低の傾向が長く続いている<sup>(注6)</sup>。以前（文理の差が 0.05 に縮まった平成 27 年度を除く）は文系科目と理系科目の差は徐々に広がる傾向にあったが、平成 29 年度から令和 4 年度までの 6 年間は一貫してその差が縮まり続ける傾向にある。

表 5 総合評価の系列の平均値と標準偏差 (SD)

		全学教育全体	全学教育	
			文系	理系
平成30年度	平均値(SD)	4.25 (0.38)	4.38 (0.32)	4.12 (0.39)
	範囲	2.92-5.00	2.96-5.00	2.92-4.98
	授業数	720	369	351
令和元年度	平均値(SD)	4.17 (0.37)	4.28 (0.34)	4.05 (0.37)
	範囲	2.70-5.00	2.86-5.00	2.70-5.00
	授業数	671	342	329
令和2年度	平均値(SD)	4.09 (0.43)	4.18 (0.45)	3.98 (0.38)
	範囲	1.71-5.00	1.71-5.00	2.48-5.00
	授業数	679	377	302
令和3年度	平均値(SD)	4.16 (0.38)	4.24 (0.37)	4.06 (0.37)
	範囲	2.32-5.00	2.32-5.00	2.94-4.90
	授業数	615	357	258
令和4年度	平均値(SD)	4.23 (0.36)	4.30 (0.35)	4.12 (0.36)
	範囲	2.20-5.00	2.20-5.00	2.53-5.00
	授業数	652	389	263

※非常勤講師の担当授業は除外

総合評価は、設問 1~2, 5~10, 15~16 の平均値

## 1.2 授業改善のための取り組み

### ■全学教育科目に係る学生による授業アンケート結果を受けての報告書

平成 26 年度から、授業アンケート結果を受けて各教員が改善した事項等について、各教員および科目責任者からの報告をまとめて本学ホームページ(学内限定)に公表している。

### ■教育研究総長表彰

教育研究活動において優れた功績を上げた教員を顕彰する教育総長賞制度が平成 23 年度に創設された。当初教育総長賞と研究総長賞に分かれ各々 50 名程度表彰されていたが、平成 29 年度以降は両賞を合わせて教育研究総長表彰とすることになり、平成 29 年度～令和 2 年度は 15 名、令和 3 年度は 13 名、令和 4 年度は 14 名に授与されている<sup>(注7)</sup>。

### ■授業参観

授業改善方策の一環として、平成 22 年度から一部の全学教育科目の授業参観を実施している。「授業アンケートによるエクセレント・ティーチャーズ」の担当科目、授業アンケートにおける評価の高い科目、科目責任者が推薦する外国語・理系基礎科目、公開希望があった科目などが対象とされる。ティーチング・フェローやティーチング・アシスタントも参加可能であり、前者については授業参観を義務化している。令和 4 年度(2 学期のみ実施)の参加者数は、延べ人数で 27 名であった。なお、令和 2 年度および令和 3 年度は実施されなかった。



## ■1 週間あたりの授業外学修時間

本学は、平成 21 年度から、複数の大学が参加する学習状況調査（大学 IR コンソーシアム）に加わり、毎年 1 年生および 3 年生を対象に共通アンケートを実施している。この調査においては、「1 週間あたりの授業外学修時間」を聞いている。平成 29 年度以降の経年変化を表 6 に示した。令和 4 年度の調査結果では、1 年生の平均が 9.2 時間であり、3 年生は 8.7 時間であった。1 年生は前年度から 1.9 時間減少し、大幅に増加した令和 2 年度以降減少傾向にあるのに対し、3 年生は 0.2 時間増加し、令和 2 年度の水準を保っている。

表 6 1 週間あたりの授業外学修時間（単位：時間）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1年生	8.7	8.5	7.9	12.9	11.1	9.2
3年生	7.1	6.8	7.3	8.8	8.5	8.7

## ■FD (Faculty Development)

平成 26 年 4 月に、高等教育研修センターが高等教育推進機構に設置され、年間 30 回程度の教員研修を実施している。その研修内容は、シラバスの作成方法や ELMS（北大版 e-ラーニングシステム）、グループ学習、クリッカーなどのアクティブ・ラーニングの手法に関する研修、英語で授業を行うための研修など多岐にわたっている。

### 1.3 単位の実質化と総合評価の算出方法

本学は、「単位の实質化」の実現に向けて、GPA 制度の本格的運用と履修単位数の上限設定の導入の他、FD（教育ワークショップ）で「単位の实質化」を重視した授業設計の実習を行うなど、積極的な取り組みを推進してきた。しかし、授業内容の難易度や課される作業量について、教員と学生の期待や認識に大きなズレがあることが広く知られており、授業外学修時間を増やすための教員の努力が現行の授業アンケートにおける総合評価に好意的に反映されない可能性が示唆されている<sup>(注8)</sup>。そこで、平成 24 年度実施分から設問 3（作業量）および設問 4（難易度）を総合評価の対象から除外した。この判断の妥当性は毎年の調査において確認している。

表 7 は、授業アンケートの各設問について、回答選択肢毎の授業外学修時間の平均値を示したものである。難易度については過去の結果と同様に「5. 極めて難しい」と回答した学生の平均値が最も高く、適切な作業量であるかについては「1. 強くそう思わない」の平均値が最も高くなっている。具体的には次のとおりである。

#### ● 設問 3 「授業で要求される作業量は適切であった」

「強くそう思わない」と回答した学生が 2.14 時間で最も長く、「そうは思わない」が 1.61

時間、「どちらともいえない」が 1.24 時間、「そう思う」が 1.02, 「強くそう思う」が 1.08 時間であった。「そう思う」よりも「強くそう思う」のほうがわずかに授業外学修時間が長い、それを除けば作業量が適切でないほど授業外学修時間が長くなっている。また、回答者の 85.4%が「適切だった」（「強くそう思う」または「そう思う」を選択）と回答し、これらの学生の授業外学修時間の平均は 1.04 時間であるのに対し、「不適切だった」（「強くそう思わない」または「そう思わない」を選択）と回答した 5.4%の学生の授業外学修時間の平均は、1.73 時間であった。つまり、学生が考える適切な作業量は、全体の授業外学修時間の平均に近い 1 時間程度で完了できるものであり、それを超える時間を要すると、課題の量が多く、完成に時間がかかるので不適切だと判断していると解釈することができる。

● 設問 4 「授業内容の難易度は適切であった」

「極めて難しい」と回答した学生が 1.66 時間で最も長く、「難しい」が 1.22 時間、「適切」が 1.01 時間、「やさしい」が 0.78, 「極めてやさしい」が 0.81 時間であった。「やさしい」よりも「極めてやさしい」のほうがわずかに授業外学修時間が長い、それを除けば難易度が高くなるほど授業外学修時間が長くなっている。これは令和元年度～令和 3 年度と同様の結果であり、平成 26 年度～平成 30 年度など、「極めてやさしい」よりも「やさしい」のほうが授業外学修時間が長くなる年もあることから、おおむね難易度が高くなるにつれて授業外学修時間が長くなる傾向がある。また、「適切」を評価 5, 「難しい」と「やさしい」を評価 3, 「極めて難しい」と「極めてやさしい」を評価 1 と換算して結果をみると、「適切」と回答した授業外学修時間が最も短く 1.01 時間となる。理想は、「適切」と評価する学生の授業外学修時間が最も長くなることではあるが、結果が示すとおり、評価に授業外学修時間の長さが反映されない。

以上のことから、過去の調査とおおよそ同様に、「作業量」と「難易度」の回答に対する評点が、単位の実質化のめざす方向と矛盾していることが示されている<sup>(注8)</sup>。

表 7 の設問 3, 4 以外の結果に注目すると、設問 12 「質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した」では、授業に積極的に参加している学生ほど授業外学修時間が長くなっている。また、設問 8・9・15 は設問 12 と同様に、「強くそう思う」と回答した授業評価の高い学生の授業外学修時間が最も長くなっている。その一方で、それ以外の設問（学生の行動に関する設問 11・12 を除く）では「強くそう思わない」と回答した授業評価の低い学生の授業外学修時間が最も長くなっている。

表7 回答選択肢ごとの平均授業外学修時間（単位：時間）<sup>a)</sup>（上段），標準偏差（中段），度数（下段）[令和4年度全学教育]

設問		回答選択肢 <sup>b)</sup>					
内容	番号	1	2	3	4	5	
A 授業 内容	授業目標、内容、評価方法が明快なシラバス	Q1	1.36 (1.22) 58	1.19 (1.07) 218	1.13 (1.00) 1,159	1.04 (0.85) 9,843	1.18 (1.02) 6,825
	シラバスに沿って行われた	Q2	1.52 (1.27) 50	1.30 (1.05) 193	1.08 (0.98) 1,009	1.05 (0.86) 9,510	1.16 (1.01) 7,354
	適切な作業量	Q3	2.14 (1.38) 221	1.61 (1.15) 753	1.24 (1.02) 1,674	1.02 (0.82) 8,553	1.08 (0.96) 6,947
	難易度 <sup>c)</sup>	Q4	0.81 (0.92) 118	0.78 (0.73) 983	1.01 (0.85) 10,641	1.22 (0.96) 5,231	1.66 (1.31) 1,198
	難易度(変換) <sup>d)</sup>		1.59 (1.30) 1,316		1.15 (0.94) 6,214		1.01 (0.85) 10,641
B 授業 手法・ 教員の 行動	わかりやすい説明	Q5	1.43 (1.18) 360	1.15 (0.98) 1,101	1.09 (0.94) 2,517	1.02 (0.84) 8,582	1.19 (1.01) 5,545
	熱意が伝わった	Q6	1.41 (1.22) 135	1.14 (1.02) 531	1.10 (0.92) 2,081	1.03 (0.85) 8,037	1.17 (1.00) 7,336
	聞き取りやすい	Q7	1.30 (1.08) 276	1.21 (1.01) 892	1.10 (0.96) 2,051	1.02 (0.85) 7,997	1.17 (0.99) 6,879
	参加を促進	Q8	1.18 (1.11) 287	0.88 (0.81) 1,705	0.98 (0.85) 3,550	1.07 (0.86) 6,932	1.30 (1.06) 5,387
	適切な対応	Q9	1.19 (1.15) 87	1.03 (0.92) 353	0.98 (0.90) 2,736	1.06 (0.86) 8,298	1.22 (1.02) 6,435
	適切な機器使用	Q10	1.22 (1.09) 139	1.13 (1.01) 471	1.12 (0.97) 1,707	1.03 (0.85) 9,065	1.18 (1.01) 6,702
C 学生 の 行動	出席率 <sup>e)</sup>	Q11	0.57 (0.71) 41	1.03 (1.00) 63	0.81 (0.82) 364	0.96 (0.82) 4,844	1.17 (0.97) 12,632
	積極的な授業参加	Q12	0.51 (0.57) 233	0.72 (0.70) 1,553	0.89 (0.79) 4,074	1.12 (0.86) 8,164	1.49 (1.15) 3,978
D 教育 効果	知的刺激、学習意欲向上	Q15	1.12 (1.17) 266	0.94 (0.90) 1,222	0.99 (0.87) 3,236	1.05 (0.84) 8,623	1.31 (1.09) 4,772
	満足度	Q16	1.26 (1.24) 222	1.12 (1.00) 660	1.06 (0.95) 2,010	1.04 (0.84) 8,702	1.19 (1.02) 6,524

※グレー色部分は設問毎の最も高い平均授業外学修時間を示す。

- a) 30分以下=0.25（時間），1時間=1，2時間=2，3時間=3，4時間以上=4として計算した。  
b) 1=強くそう思わない，2=そうは思わない，3=どちらともいえない，4=そう思う，5=強くそう思う  
c) 1=極めてやさしい，2=やさしい，3=適切，4=難しい，5=極めて難しい  
d) 1=極めてやさしい+極めて難しい，3=やさしい+難しい，5=適切  
e) 1=20%，2=40%，3=60%，4=80%，5=100%

## 1.4 汎用的能力に関する追加設問の回答結果概要

汎用的能力の教育成果に関する4つの設問（コミュニケーション能力、人間や社会の多様性の理解、創造的な思考能力と建設的な批判的能力、社会的責任と普遍的な倫理観の向上度）を追加設問とした。これまで試行として、教養科目（コアカリキュラム）の中から無作為に抽出した一部科目を対象に調査を行ってきたが、平成29年度の調査より教養科目を担当する全教員に調査を依頼することとなった。今回は521科目（前年度：483科目）から回答を得た。4つの設問の内、どの設問を追加設問とするかは、各担当教員に任されており、全員が必ずしもすべてに回答しているとは限らない。また、教員に追加設問の有無を尋ねておらず、学生から回答のあった科目すべてを対象にして分析した。したがって、教員が回答の指示を出していない場合も含まれる。以下に、令和4年度の調査結果の概要を示す。

### ■設問項目

設問は、「この授業を受講して、下記の「追加設問1～4」に示した能力・理解・認識が向上したと思いますか。」となっており、5段階評価（5：かなり向上した、4：少し向上した、3：どちらともいえない、2：あまり向上しなかった、1：向上しなかった）で回答を求めている。各設問の詳細は次のとおりである。

#### 1) コミュニケーション能力

（人間や社会に係わる事象や自然界の事象を主として言語を通じて正しく理解できること、自分の考えを的確に言語的に表現できること、相互にアイデアを交換できること。）

#### 2) 人間や社会の多様性の理解

（各学問分野の専門家が、専門の壁を越えて行う授業を通して、それぞれの専門の持つ幅と奥行きを体験するとともに、自分が志望する専門以外の分野についても、積極的に視野を広げること。）

#### 3) 創造的な思考能力と建設的な批判的能力

（根拠にもとづく推論とは何か、矛盾をどのように解決するか、公平で的確な判断をどのように行うかなどを経験することによって、独創的で批判的なものの考え方を理解し身につけること。）

#### 4) 社会的責任と普遍的な倫理観

（制度や科学技術が高度に発達した社会において、人間としてあるいは市民としての普遍的な倫理について、具体的な事例の検討を通じて考えること。）

### ■5段階評価の平均値

4つの設問それぞれについて、5段階評価の平均値を「全体」に加え、「講義／演習／必修

／選択」科目別、「文系／理系」別、「クラスサイズ」別、「科目区分」別に求め、グラフ化した（図3、4、5、6）。

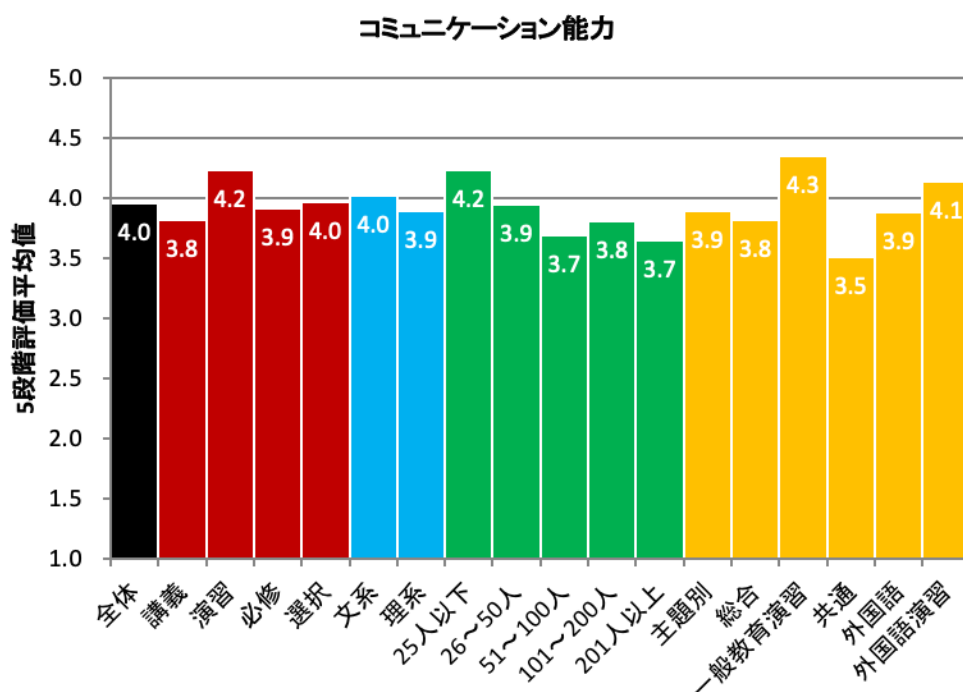


図3 コミュニケーション能力の平均評点

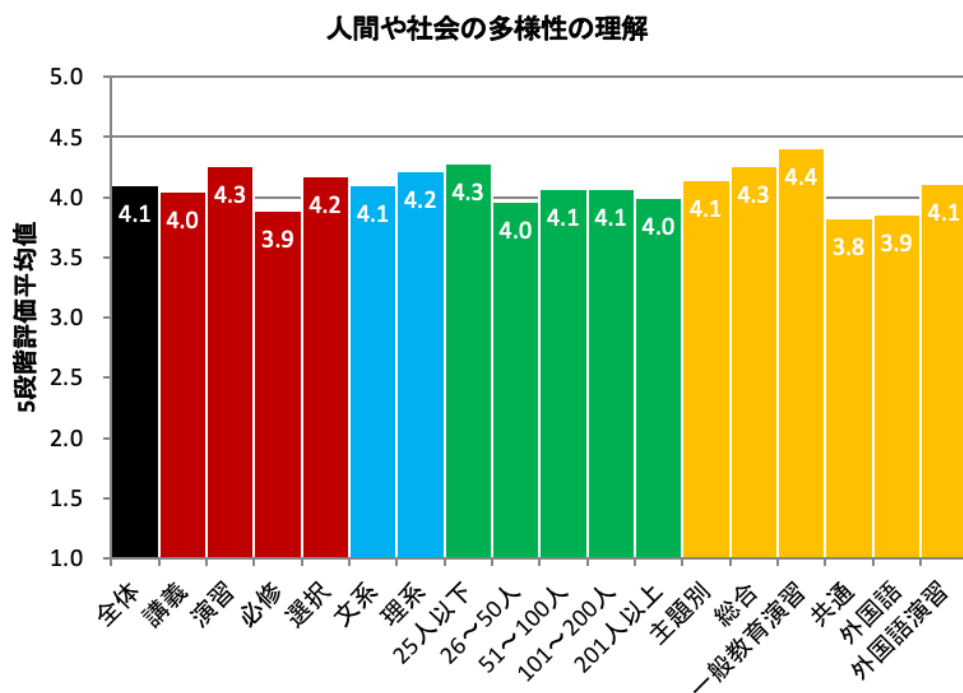


図4 人間や社会の多様性の理解の平均評点

### 創造的な思考能力と建設的な批判的能力

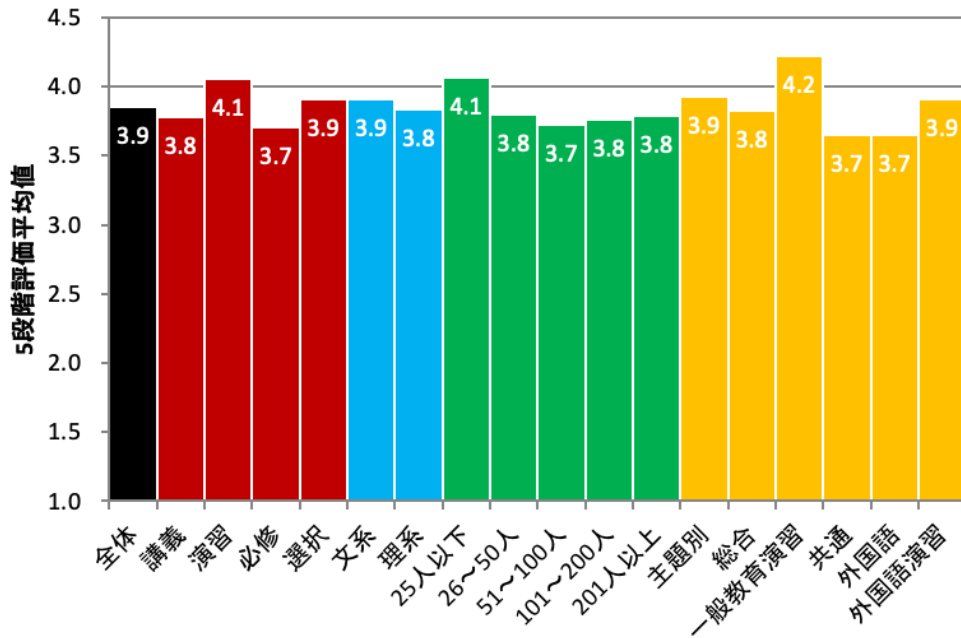


図5 創造的な思考能力と建設的な批判的能力の平均評点

### 社会的責任と普遍的な倫理観

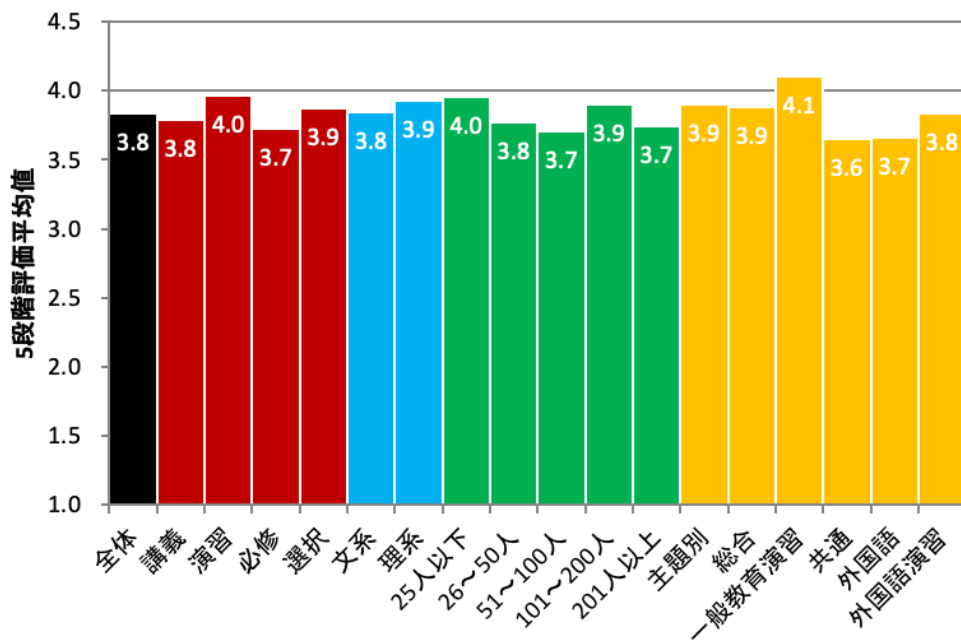


図6 社会的責任と普遍的な倫理観の平均評点

## ■全体平均の比較

4つの質問の全体平均を比較し、評点の高い順に並べると、「人間や社会の多様性の理解（評価平均値：4.107）」、「コミュニケーション能力（3.951）」、「創造的な思考能力と建設的な批判的能力（3.852）」、「社会的責任と普遍的な倫理観（3.837）」であった。令和3年度は「人間や社会の多様性の理解（評価平均値：4.101）」、「コミュニケーション能力（3.893）」、「創造的な思考能力と建設的な批判的能力（3.854）」、「社会的責任と普遍的な倫理観（3.811）」であったため、今回も前年度と同じ順番であり、「コミュニケーション能力」以外の項目において増加がみられた。表11には、平成30年度～令和4年度の調査の各設問回答者数と標準偏差を示した。次に、設問ごとに詳細に検討する。

表11 各設問の回答者人数と回答の標準偏差

設問	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	回答者人数(人)	標準偏差	回答者人数(人)	標準偏差	回答者人数(人)	標準偏差	回答者人数(人)	標準偏差
コミュニケーション能力	3,517	0.86	3,153	0.83	4,263	0.92	6,332	0.91
人間や社会の多様性の理解	3,317	0.81	2,631	0.81	3,754	0.87	5,209	0.86
創造的な思考能力と建設的な批判的能力	2,913	0.87	2,303	0.88	3,247	0.93	4,143	0.92
社会的責任と普遍的な倫理観	2,589	0.91	2,075	0.92	3,070	0.96	4,021	0.91

## ■コミュニケーション能力

評価平均値の最高値は、「一般教育演習」の4.3（令和3年度：4.2、令和2年度：4.1、令和元年度：4.2、平成30年度：4.2）であった。最低値は、前年度と同様に、「共通」の3.5であった。一般教育演習が分類されている「演習」と「25人以下」でもその評価は高く（4.2）、この科目が学生のコミュニケーション能力の涵養に貢献しているといえる。

## ■人間や社会の多様性の理解

「一般教育演習」の評価値が4.4と最も高く、「演習」、「25人以下」、「総合」が4.3でそれに続いている。前年度最も高かった「総合」（令和3年度：4.3）とそれに次いで高かった「一般教育演習」（令和3年度：4.2）が入れ替わる結果となった。全設問・全カテゴリーの中で、本設問の「一般教育演習」の評価値が最も高かった。

## ■創造的な思考能力と建設的な批判的能力

「一般教育演習」の評価値が4.2と最も高く、それに次いで、「演習」と「25人以下」の評価値が4.1となっている。コミュニケーション能力と同様に、少人数の演習タイプの授業の評価値が相対的に高い。一方、これらの3つのカテゴリー以外では、すべて3点台後半にとどまり、4を超えるものはなかった。

## ■社会的責任と普遍的な倫理観

「一般教育演習」が4.1と最も高く、4.0の「演習」と「25人以下」がそれに続く。本設問では、「総合」や「100人～200人」といったクラスサイズの大きい授業と少人数の演

習タイプの授業との差が他の設問に比べて小さい傾向がある。また、全体的にカテゴリー間の差が小さいことが特徴としてあげられる。

#### ■まとめ

令和4年度はすべての設問において「一般教育演習」の評価値が最も高かった。さらに、一般教育演習が分類される「演習」、「25人以下」がそれ次いで高い評価値を示す傾向にある。これらの能力の獲得に一般教育演習や少人数の演習タイプの授業が大きく貢献していることを示す結果となっている。

#### ■謝辞

本章におけるデータ分析は総合 IR 本部教学部門の支援によるものである。短期間で精緻な分析を行っていただいたことに深く感謝する。



## 注

1. 新旧設問の対照表は下記の URL を参照。  
<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/tenken/hokoku/2008/s1/01.html>
2. 30 分以下=0.25, 1 時間=1, 2 時間=2, 3 時間=3, 4 時間以上=4 (単位: 時間),  
に変換して計算した。
3. 教務情報システムのデータに基づき分類した。
4. 高等教育機能開発総合センター『センターニュース』第 74 号, 2008, pp.1-5  
参照 URL : <https://high.high.hokudai.ac.jp/wp-content/uploads/2014/12/74.pdf>
5. 高等教育推進機構『ニュースレター』第 112 号, 2018, pp.12-15  
参照 URL : <https://high.high.hokudai.ac.jp/wp-content/uploads/2018/10/112.pdf>
6. 文系と理系は, 授業内容ではなく, 授業担当教員の所属部局で区別している。
7. 北大時報 平成 30 年 4 月 No.769  
参照 URL : [https://www.hokudai.ac.jp/pr/jihou\\_18\\_04.pdf](https://www.hokudai.ac.jp/pr/jihou_18_04.pdf)
8. 北海道大学評価室(2008)「学生による授業アンケート報告書」(平成 19 年度)  
北海道大学評価室(2009)「学生による授業アンケート報告書」(平成 20 年度)  
北海道大学評価室(2010)「学生による授業アンケート報告書」(平成 21 年度)  
北海道大学評価室(2011)「学生による授業アンケート報告書」(平成 22 年度)  
北海道大学高等教育推進機構(2012)「学生による授業アンケート報告書」(平成 23 年度)  
北海道大学高等教育推進機構(2013)「学生による授業アンケート報告書」(平成 24 年度)  
北海道大学高等教育推進機構(2014)「学生による授業アンケート報告書」(平成 25 年度)  
北海道大学高等教育推進機構(2015)「学生による授業アンケート報告書」(平成 26 年度)  
北海道大学高等教育推進機構(2016)「学生による授業アンケート報告書」(平成 27 年度)  
北海道大学高等教育推進機構(2017)「学生による授業アンケート報告書」(平成 28 年度)  
北海道大学高等教育推進機構(2018)「学生による授業アンケート報告書」(平成 29 年度)  
北海道大学高等教育推進機構(2019)「学生による授業アンケート報告書」(平成 30 年度)  
北海道大学高等教育推進機構(2020)「学生による授業アンケート報告書」(令和元年度)  
北海道大学高等教育推進機構(2021)「学生による授業アンケート報告書」(令和 2 年度)  
北海道大学高等教育推進機構(2022)「学生による授業アンケート報告書」(令和 3 年度)

参照 URL :

<http://www.hokudai.ac.jp/pr/tenken/tenken/self/jugyo/> (平成 23 年度 1 学期まで)

<http://educate.academic.hokudai.ac.jp/center/enquete/enquete.htm>

(平成 23 年度 2 学期以降)

## 2. アンケートの実施方法

### 対象となる授業

令和4年度第1学期及び第2学期に開講された全学教育科目を対象とした。  
分析に際し、各授業を以下のように分類した。

- ・ 授業形態：講義、演習
- ・ 科目区分：一般教育演習、外国語演習、外国語科目、基礎科目、共通科目、主題別科目、総合科目、日本語科目及び日本事情に関する科目
- ・ 必修、選択の別
- ・ 受講登録学生数（クラスサイズ）：25人以下、26～50人、51人～100人、101～200人、201人以上

### 実施方法

令和4年度に担当している授業科目のうち適当な1つ以上の科目を授業担当教員に選択いただき、Web上で実施した。アンケートを実施する科目については、講義時間中に教員が学生に回答するよう指示をすることとしたが、アンケートシステム上では、履修登録をしている全ての科目で回答が可能となるため、アンケートを実施しない科目がある場合は教育推進課へ連絡してもらうこととした。

令和4年度は、令和3年度に引き続きオンライン授業が行われたため、例年どおりの設問内容では回答が困難な場合が想定された。設問にコメントを加えたり、回答に「当てはまらない」という選択肢を加えたりなどの修正を施し、「当てはまらない」という回答は、集計の際は、「無回答」として計上することとした。

集計対象科目については、回答率が20%以上の科目、及び授業担当教員からアンケートを実施しないと連絡があった科目を除いた科目を対象とした。その結果、アンケート実施科目数は、前年度より80科目ほど多い科目数となった。

### 設問について

アンケートの設問は、A：「授業内容に関する項目」、B：「授業手法、教員の行動」、C：「受講者の行動」、D：「教育効果」に分類した。

なお、アンケートは、全授業に対して一律の設問及び回答の選択肢であるため、授業固有の項目に関して教員が独自に設定した質問に学生が答えるという形式のアンケートを付加し、担当教員の判断で実施することができるようになっている。

### 追加設問について

全学教育が掲げる教育目標の達成度を検証するため、教養科目（コアカリキュラム）を対象として、従来の授業アンケートの設問に加えてコアカリキュラムを担当する教員に実施を依頼した。

4つの追加設問（①コミュニケーション能力、②人間や社会の多様性の理解、③創造的な思考能力と建設的な批判能力、④社会的責任と普遍的な倫理観）の中から担当する授業内容に該当する設問を一つ以上指定し、学生にはその設問のみ回答させた。

### 3. 各教員あて通知内容

#### 集計表

フィードバック用の集計表では、各教員は、自分の授業の総合評点（主要設問について学生が回答した評点の合計を回答学生数（無回答を除く延べ数）で除したもの）で、全学教育平均・講義科目平均・演習科目平均・必修科目平均・選択科目平均と比較することになる。

また、通常の設定問項目のほか、その授業に固有の項目に関して教員個人が質問を設定した場合には、「追加設問」の欄に5段階の評点が表示される。

各教員あて通知内容																		
「令和4年度(第1学期及び第2学期通年分)全学教育科目に係る授業アンケート」集計表																		
部 局 名：文学研究科・文学部		氏 名：●●●●		科 目 名：社会の認識 ●●●●●●●●●●				必修・選択：選択										
授業形態：講義		科 目 区 分：全学教育科目(主題別科目)		提出枚数：31				登録学生数：26~50人										
設問内容	5	4	3	2	1	無回答	5段階評点の平均値	全学教育平均値	講義科目平均値	演習科目平均値	必修科目平均値	選択科目平均値						
1. シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。																		
2. 授業はシラバスにそって行われていた。																		
5. 教員の説明はわかりやすかった。																		
6. 教員の熱意が伝わってきた。																		
7. 教員の話し方は聞き取りやすかった。																		
8. 教員は効果的に学生の参加(発言、自主的学習、作業など)を促した。																		
9. 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。																		
10. 黒板、教科書、プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった。																		
15. 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。																		
16. 授業は全体として満足できるものであった。																		
平均値 (%)							総合評点*											
*総合評点：上欄の10個の設問項目について学生が回答した評点の合計を回答学生数(無回答を除く延べ数)で除したもの																		
設問内容	5	4	3	2	1	無回答	5段階評点の平均値	全学教育平均値	講義科目平均値	演習科目平均値	必修科目平均値	選択科目平均値						
3. 授業で要求される作業量(レポート、課題、予習・復習など)は適切であった。																		
4. 授業内容の難易度は適切であった。																		
11. この授業の自分の出席率は( )%程度であった。																		
12. 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。																		
13. この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均( )であった。																		
設問内容	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	無回答	10段階評点の平均値	全学教育平均値	講義科目平均値	演習科目平均値	必修科目平均値	選択科目平均値
14. シラバスに記載されている到達目標は、( )割程度達成できた。																		
※ 評点については次のとおりとする。																		
① 設問1~3、6~10、12、15~16 : 「5-4-3-2-1」は、「強くそう思う・そう思う・どちらともいえない・そうは思わない・強くそう思わない」を意味する。																		
② 設問4 : 「5-4-3-2-1」は、「A:極めて難しい・B:難しい・C:適切・D:やさしい・E:極めてやさしい」を意味する。なお、平均値は「0-5-10-3-AE-1」として算出。																		
③ 設問11 : 「5-4-3-2-1」は、「A:100%-B:80%-C:60%-D:40%-E:20%」を意味する。																		
④ 設問13 : 「5-4-3-2-1」は、「A:4時間以上・B:3時間・C:2時間・D:1時間・E:30分以下」を意味する。																		
⑤ 設問14 : 「10-9-8-7-6-5-4-3-2-1-0」は、「10割・9割・8割・7割・6割・5割・4割・3割・2割・1割・0割」を意味する。																		
追加設問																		
設問内容	5	4	3	2	1	無回答	5段階評点の平均値											
1 コミュニケーション能力																		
2 人間や社会の多様性の理解																		
3 創造的な思考能力と建設的な批判能力																		
4 社会的責任と普遍的な倫理観																		
5																		
6																		
7																		
8																		
※設問及び回答の選択肢について、教員各自が設定している場合は空欄となっている。																		

「5-4-3-2-1」は、「かなり向上した・少し向上した・どちらともいえない・あまり向上しなかった・向上しなかった」を意味する。

## 4. アンケート用紙の様式

令和4年6月24日

《部局名》  
《氏名》 殿

高等教育推進機構長 山口 淳 二

令和4年度第1学期全学教育科目に係る授業アンケートの実施について（依頼）

高等教育推進機構では、教育の質保証の観点から、学生から意見等を継続的に収集し、担当教員へのフィードバック等による教育の質向上を図るため、全学教育科目において授業アンケートを行っております。

つきましては、別紙1の実施要領を参照のうえ、令和4年度第1学期開講の下記対象科目について、授業アンケートの実施をお願いいたします。最終授業日の授業終了前に、15分ほど回答時間を設けていただき、学生が必ず回答できる環境作りにご協力をお願いいたします。

なお、令和4年度内に全学教育科目を複数ご担当いただいている教員において、アンケートを実施しない科目がある場合は、8月31日（水）までに下記担当にご連絡願います。

また、アンケートの集計結果については、令和4年度1年間の結果と併せて実施教員、所属部局等の長に通知します（令和5年7月頃を予定）。その際に、アンケート結果を受けての報告書の提出についても改めて依頼しますのでご協力をお願いいたします。提出いただいた報告書は、授業改善への効果があると認められるものや他の教員の参考となる事例等を取りまとめ、高等教育推進機構のホームページにて公表する予定です。

おって、令和2年度実施分までの授業アンケートの報告書は、高等教育推進機構のホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

(<https://www.high.hokudai.ac.jp/class-questionnaire/>)

記

### 対象となる授業科目（令和4年度第1学期）

時間割番号	科目名	曜日講時
< 678901	△△△演習	集中 >
< 234567	○○○○学Ⅰ	月3 >
< 890123	◎ +++++学Ⅱ	集中 >

### 同封書類

- ・別紙1 授業アンケート実施要領（教員用）
- ・別紙2 授業アンケート回答要領（学生用）等
- ※ 授業アンケート回答要領（学生用）はE LMSのお知らせ欄に掲載して学生に周知しております。

担 当  
学務部教育推進課全学教育・総合教育担当  
内線：5083/6098  
e-mail：[sougou@academic.hokudai.ac.jp](mailto:sougou@academic.hokudai.ac.jp)

令和4年12月7日

《部局名》  
《氏名》 殿

高等教育推進機構長 山口 淳 二

令和4年度第2学期全学教育科目に係る授業アンケートの実施について（依頼）

高等教育推進機構では、教育の質保証の観点から、学生から意見等を継続的に収集し、担当教員へのフィードバック等による教育の質向上を図るため、全学教育科目において授業アンケートを行っております。

つきましては、別紙1の実施要領を参照のうえ、令和4年度第2学期開講の下記対象科目について、授業アンケートの実施をお願いいたします。

なお、対象科目が複数ある場合は、少なくとも1科目は実施いただきたく、よろしくご願ひいたします。対象科目全科目で実施いただいても構いません。

また、アンケートの集計結果については、令和4年度1年間の結果として実施教員、所属部局等の長に通知します（令和5年7月頃を予定）。その際に、アンケート結果を受けての報告書の提出についても改めて依頼しますのでご協力をお願いいたします。提出いただいた報告書は、授業改善への効果があると認められるものや他の教員の参考となる事例等を取りまとめ、高等教育推進機構のホームページにて公表する予定です。

おって、令和3年度実施分までの授業アンケートの報告書は、高等教育推進機構のホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

[\(https://www.high.hokudai.ac.jp/class-questionnaire/\)](https://www.high.hokudai.ac.jp/class-questionnaire/)

記

#### 対象となる授業科目（令和4年度第2学期）

時間割番号	科目名	曜日講時
< 678901	△△△演習	集中 >
< 234567	○○○○学Ⅰ	月3 >
< 890123	◎ +++++学Ⅱ	集中 >

#### 同封書類

- ・別紙1 授業アンケート実施要領（教員用）
- ・別紙2 授業アンケート回答要領（学生用）等
- ※ 授業アンケート回答要領（学生用）はE LMSのお知らせ欄に掲載して学生に周知しております。

担 当  
学務部教育推進課全学教育・総合教育担当  
内線：5083/6098  
e-mail：[sougou@academic.hokudai.ac.jp](mailto:sougou@academic.hokudai.ac.jp)

1. スマートフォンやパソコンで「ELMS（エルムス）」にログインし、「Web 履修登録システム」をクリックすると、「Web 履修登録システム」及び「学生アンケートシステム」の選択画面が表示されますので、「学生アンケートシステム」へ進んでください。



2. 学生アンケートシステム内の「アンケート回答」へ進んでください。
3. 「一般アンケート」と「授業アンケート」が表示されます。
4. 「授業アンケート」に、あなたが履修登録した授業科目が全て表示されます。授業担当教員から回答不要の指示があった科目以外、全ての授業授業の「回答」へ進んでください。
5. 回答後は、「確認」へ進み、内容を確認した後、「送信」を押すと回答が送信されます。



※原則、授業時間内に回答することになっていますので、授業担当教員の指示に従ってください。

アンケート回答可能期間 2 学期科目（冬ターム含む） 1 2月12日（月）～ 2月17日（金）  
 秋ターム（一部集中講義） 1 1月 9日（水）～12月16日（金）  
 集中講義（春休み実施分） 1 2月12日（月）～ 3月31日（金）

※追加設問 1～4（Q21～24）は、教養科目（主題別科目、総合科目、一般教育演習、共通科目、外国語科目、外国語演習）を対象としています。追加設問 5～8 は、授業固有の項目について授業担当が独自に設定する設問です。追加設問の回答については、授業担当教員の指示に従い回答してください。

※「保存して後で続行する」を押すと、回答は一時保存されますが、このボタンを利用せずに、回答の途中で画面を閉じる、キャンセルボタンを押す等してしまうと、回答内容は保存されないため、最初からやり直す必要がありますので、ご注意ください。

※各科目の回答画面において、科目名をクリックするとシラバスが閲覧できます。

※一つの授業を複数の教員で担当している場合は、授業全体を通して回答を行い、適切な回答ができない場合は、設問 20 の自由記述をご利用ください。

問い合わせ  
 アンケートの実施について質問があれば高等教育推進機構⑦番窓口にお問い合わせください。  
 sougou@academic.hokudai.ac.jp  
 -21-

## 授業アンケート実施要領（教員用）

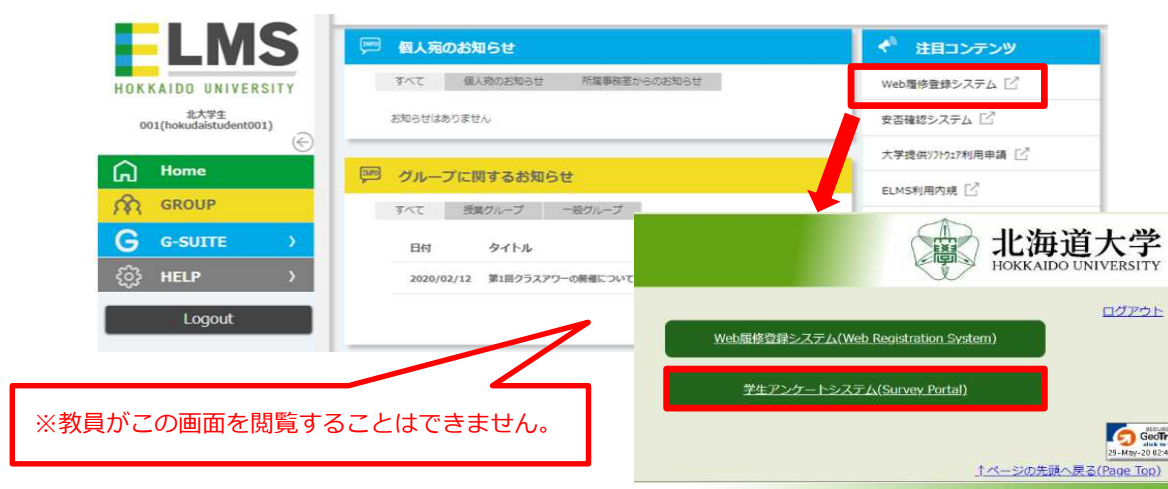
### アンケートの実施方法

授業アンケートへのご協力ありがとうございます。

令和4年度第2学期におきましては、原則対面授業が行われていますが、オンライン授業も併用して行われております。授業の実施方法により、回答が難しい場合が想定されますので、設問にコメントを加えたり、回答に「当てはまらない」という選択肢を加えたり、などの修正を施しております。

### 【学生への指示事項】

1. 可能な限り、最終授業等の最後の約15分間に、受講学生にスマートフォンやパソコンを使って回答するよう指示願います。オンライン授業の場合でも、可能な限り、授業実施期間中にアンケートを回答するよう指示願います。
2. ELMSにログインし「Web履修登録システム」→「学生アンケートシステム」→「授業アンケート」と進むと、履修している全学教育科目が全て表示されるので、その中から当該授業科目を選択し、回答させてください。学生は、履修登録した全ての授業科目について、アンケートに回答可能となっております。



3. 授業時間内に回答することを原則としますが、授業時間内での回答指示が困難な場合は、回答可能期間内に入力するよう指示してください。
 

回答可能期間	2学期科目（冬ターム含む）	12月12日（月）～	2月17日（金）
	秋ターム（一部集中講義）	11月9日（水）～	12月16日（金）
	集中講義（春休み実施分）	12月12日（月）～	3月31日（金）
4. 学生には ELMS のお知らせにて回答要領を配付しております。別紙2の学生用回答要領等をご参照ください。

（注）期末試験実施日には授業アンケートを行わないでください。その前の週の通常の授業時間を用いて授業アンケートを行う等ご対応願います。やむを得ず期末試験の日に授業アンケートを実施する場合は、授業時間を試験実施時間とアンケート実施時間を厳格に分けてください。試験が完全に終了し、答案は提出済みの状態にしてからスマートフォンを机の上に出させるようにしてください。

（注）非正規生でも ELMS—ID を付与されている学生はアンケートに回答することができます。

（裏面もご覧ください）

## 教養科目（コアカリキュラム）の授業を担当の場合

平成28年度から、すべての教養科目（コアカリキュラム：主題別科目、総合科目、一般教育演習、共通科目、外国語科目、外国語演習）を対象として、通常の授業アンケートの設問に加えて「追加設問」を実施することとしています。これは大学が認証評価を受ける上で、教育目標の達成度を評価することが必須となっているためです。

**依頼文書の「対象となる授業科目」に◎が付してある科目が教養科目（コアカリキュラム）の授業です。**

教養科目（コアカリキュラム）で授業アンケートを行う場合には、通常の授業アンケートに加えて、「全学教育科目 授業アンケート」下部の「教養科目（コアカリキュラム）に関する追加設問」

（Q21～Q24）の中から担当する授業内容に該当する設問を一つ以上指定し、その設問に回答するよう学生に指示願います。

### ・追加設問1：コミュニケーション能力（Q21）

人間や社会に係わる事象や自然界の事象を主として言語を通じて正しく理解できること、自分の考えを的確に言語的に表現できること、相互にアイデアを交換できること。

### ・追加設問2：人間や社会の多様性の理解（Q22）

各学問分野の専門家が、専門の壁を越えて行う授業を通して、それぞれの専門の持つ幅と奥行きを体験するとともに、自分が志望する専門以外の分野についても、積極的に視野を広げること。

### ・追加設問3：創造的な思考能力と建設的な批判的能力（Q23）

根拠にもとづく推論とは何か、矛盾をどのように解決するか、公平で的確な判断をどのように行うかなどを経験することによって、独創的で批判的なものの考え方を理解し身につけること。

### ・追加設問4：社会的責任と普遍的な倫理観（Q24）

制度や科学技術が高度に発達した社会において、人間としてあるいは市民としての普遍的な倫理について、具体的な事例の検討を通じて考えること。

## 独自に設定した追加設問がある場合

回答欄の「追加設問 5～8（Q25～28）」を使用し、授業固有の項目について、独自に設問を設定してアンケートを実施することができます。独自に設問を設定する場合は、そのアンケート内容・回答方式等とともに、全学的に実施するアンケートとは異なる旨学生に説明してください。

1. 独自に設定できる設問は4問以内です。アンケートシステム上で教員が個別に設定することはできませんので、設問を授業中に板書等により学生に提示し、各教員が記録しておいてください。
2. 各教員へフィードバックする内容は、追加した設問の選択肢「5, 4, 3, 2, 1」の回答の割合です。上記制限を超えて実施した場合、集計できませんので、あらかじめご承知おきください。

## アンケートの集計について

学生は、履修登録をした全ての授業科目について、アンケートの回答が可能となっており、回答の指示をしていない科目でも回答があった場合は回答データが作られます。よって回答率20%以上の科目を集計対象科目とし、エクセレントティーチャーの対象科目、所属長への通知対象科目としております。

複数科目ご担当されている場合で、アンケートを実施しない科目がある場合は、2月17日（金）までに教育推進課総合教育担当にご連絡ください。（[sougou@academic.hokudai.ac.jp](mailto:sougou@academic.hokudai.ac.jp)）



※学生の回答画面です。教員が、Web上で閲覧することはできません。

アンケート名 (Survey Name)	全学教育科目 授業アンケート (令和4年度第2学期) , General Education Course Evaluation Survey, (2022,2 semester-Intensive courses)
説明 (Message)	<p>このアンケートは、授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に生かされますので、率直で建設的な回答をお願いします。</p> <p>また、回答内容は、回答者を特定しない形で授業改善を目的とした研究に使われることがあります。アンケートの回答によりあなたが不利益を被ることはありません。</p> <p>21の設問とコアカリキュラムに関する追加設問があります。自由記述欄もありますので、この授業やアンケートに対する意見を述べてください。アンケート回答後は、「送信」を押して終了してください。</p> <p>オンライン授業も行われております。設問は、対面授業を想定して作られていますので、オンライン授業に合致しない部分があります。それについては、以下のよう読み替えて回答してください。</p> <p>「シラバス」は、初回授業時の授業方針の説明も含まれます。「教員の説明、話し方」は、オンライン上で配信された教員作成の資料や説明文を含みます。</p> <p>「学生の発言、質問」は、オンライン上での投稿も含まれます。「自分の出席(率)」は、オンデマンド授業を閲覧したことを含みます。</p> <p>それでも回答に悩んだ場合は、「当てはまらない」という選択肢で回答してください。</p> <p>This survey is intended to improve the overall class experience for students taking the General Education Courses. Please feel free to give us your straightforward and productive feedback. Responses may be used for research aimed at improving teaching. You will not be at a disadvantage as a result of answers given.</p> <p>Please answer the 21 questions below regarding this General Education Course followed by the Additional Questions on the Core Curriculum Courses. Feel free to give your comments on and/or requests concerning this General Education Course and this Survey. Click "Confirm" to complete the Survey.</p> <p>Many classes have shifted from in-person to online this academic year. Questions are written to find out your in-person class experience, so you may find some questions inapplicable to online classes. Please read the below instructions before starting the survey.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- The term "syllabus" includes "course objectives" which your course instructor explains in the first class of the course.</li> <li>- "Course instructor's explanation" and "Course instructor's verbal expression" include the handouts (course materials and instructions) prepared and delivered online by your course instructor.</li> <li>- "Students' questions" and "Students' discussions" include those submitted or held online.</li> <li>- "My attendance" percentage includes access to on-demand classes.</li> <li>- If you are not certain about the answer, select "Not applicable".</li> </ul>
回答期間 (Survey Period)	2022/11/09~2022/12/16
時間割番号 (Course Number)	
科目名 (Course Title)	
担当教員 (Name of Academic)	
曜日・講時 (Day & Period)	

この授業（講義・演習）について、以下の各設問に対してどう考えますか。それぞれについて、該当するものを1つ選んでください。 Please select the answer which best describes your perception of this course (lectures/seminars).

※履修登録している全ての全学教育科目のアンケートに回答してください。（授業担当教員から回答不要の指示があった科目を除く）

Q1 シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。(シラバスは初回授業時の授業方針の説明を含む。)

The syllabus clarified the course goals, contents and assessment plan.

Note: The term "syllabus" here includes the course objectives which your course instructor explained in the first class of the course.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q2 授業はシラバスに沿って行われていた。(シラバスは初回授業時の授業方針の説明を含む。)

The course instructor followed the syllabus closely.

Note: The term "syllabus" here includes the course objectives which your course instructor explained in the first class of the course.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q3 授業で要求される作業量(レポート、課題、予習・復習など)は適切であった。

The amount of required study outside of class was adequate e.g. papers, assignments and self-study (preparation/review) .

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree

Q4 授業内容の難易度は適切であった。

The course content was difficult to understand.

- 極めて難しい / Strongly Agree (very difficult)
- 難しい / Agree (difficult)
- 適切 / Neither Agree nor Disagree (at the right level)
- やさしい / Disagree (easy to understand)
- 極めてやさしい / Strongly Disagree (very easy to understand)

Q5 教員の説明はわかりやすかった。(オンライン上で配信された教員作成の資料や説明文を含む。)

The course instructor's explanation was to the point and easy to follow.

Note: The term "explanation" here includes the online handouts provided by your course instructor.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q6 教員の熱意が伝わってきた。

The course instructor demonstrated his/her dedication and commitment in teaching.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q7 教員の話し方は聞き取りやすかった。

The course instructor's speech was clear and comprehensible.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q8 教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。発言はオンライン上での投稿を含む。  
The course instructor's approach was effective in encouraging students' active participation in class (e.g. students' discussions, self-study, activities etc.)

Note: The term "students' discussions" here includes the comments posted to online discussions.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q9 教員は学生の質問・発言等（オンライン上での投稿を含む）に適切に対応した。

The course instructor clearly and effectively responded to students' questions and comments including those posted online.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q10 黒板、教科書、プリントやA V機器等の使われ方が効果的であった。

The course instructor effectively used a blackboard, textbooks, handouts and audiovisual equipment.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q11 この授業の自分の出席率は（ ）%程度であった。（出席はオンデマンド授業を閲覧したことを含む。）

My attendance percentage was:

Note: The term "attendance percentage" here includes access to on-demand classes.

- 100
- 80
- 60
- 40
- 20

Q12 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。(質問、発言はオンライン上での投稿を含む。)

I actively participated in the class asking questions, voicing opinions, conducting investigations and engaging in self-study.

Note: The terms "questions" and "opinions" here include those posted online.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree
- 当てはまらない / Not applicable

Q13 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均( )であった。

The average number of hours required for self-study (preparation/review) before/after a 90 minute class was:

- 4時間以上 / 4 hours or more
- 3時間 / 3 hours
- 2時間 / 2 hours
- 1時間 / 1 hour
- 30分以下 / 30 minutes or less

Q14 シラバスに記載されている到達目標は、( )割程度達成できた。(シラバスは初回授業時の授業方針の説明を含む。)

I feel I have attained the learning objectives provided in the syllabus to the extent of:  
(Select a number between 0 and 10 to describe the level of your attainment)

Note: The term "syllabus" includes "course objectives" which your course instructor explained in the first class of the course.

- 10
- 9
- 8
- 7
- 6
- 5
- 4
- 3
- 2
- 1
- 0

Q15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。

Having been inspired by the knowledge gained from attending classes, I would like to further the study of the subject.

- 強くそう思う / Strongly Agree

- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree

Q16 授業は全体として満足できるものであった。

I am satisfied with the overall quality of the course.

- 強くそう思う / Strongly Agree
- そう思う / Agree
- どちらともいえない / Neither Agree nor Disagree
- そうは思わない / Disagree
- 強くそう思わない / Strongly Disagree

※Q18~Q21は自由記述による回答で、各設問2000文字まで入力可能です。Q22~Q29は、授業科目毎の追加設問になりますので、授業担当教員の指示に従って回答してください。Please answer Q18 to Q21 (up to about 500 words par question) ; Q22 to Q29 are additional questions designated for specific classes, so please follow the instructor's directions if answering these questions is necessary for your class.

Q17 この授業で良かったと思う点について書いてください。

What did you like about the course?

Q18 この授業で改善した方が良くと思う点について書いてください。

What could be improved about the course?

Q19 その他、気づいたことがありましたら書いてください。

Any other comments?

Q20 授業アンケートの実施方法や設問内容などについて、意見がありましたら書いてください。

Let us hear your views on the survey method and questionnaire content.

教養科目（コアカリキュラム）に関する追加設問（基礎科目は含まない。）【授業担当教員から指示があった場合に、指示のあった設問にのみ回答してください。】 Additional Questions on liberal arts course subjects (core curriculum) 【Answer only questions selected by your course instructor and follow guidance】

◎この授業を受講して、下記の「追加設問1～4」に示した能力・理解・認識が向上したと思いますか。該当するものを1つ選んでください。 Do you think you have improved your competence, understanding and awareness in the areas described in the following questions through the classes you attended? Please select the answer which best describes your perception.

Q21 【追加設問1：コミュニケーション能力】 人間や社会に係わる事象や自然界の事象を主として言語を通じて正しく理解できること、自分の考えを的確に言語的に表現できること、相互にアイデアを交換できること。

【Additional Question 1: Communication skills】

I make a correct interpretation of the phenomena related to human and society as well as natural

phenomena mainly by using language. I can also accurately portray my own thoughts using language skills, and exchange ideas with others.

- かなり向上した / Significantly improved
- 少し向上した / Somewhat improved
- どちらともいえない / Cannot say either way
- あまり向上しなかった / Not so improved
- 向上しなかった / Not at all improved

Q22 【追加設問2：人間や社会の多様性の理解】 各学問分野の専門家が、専門の壁を越えて行う授業を通して、それぞれの専門の持つ幅と奥行きを体験するとともに、自分が志望する専門以外の分野についても、積極的に視野を広げること。

【Additional Question 2: Understanding the diversity of human and society】

I have experienced the width and the depth of specialized fields through interdisciplinary lectures delivered by experts of their fields. It has made me become positive to broaden my perspective in other academic areas other than my interests.

- かなり向上した / Significantly improved
- 少し向上した / Somewhat improved
- どちらともいえない / Cannot say either way
- あまり向上しなかった / Not so improved
- 向上しなかった / Not at all improved

Q23 【追加設問3：創造的な思考能力と建設的な批判的能力】 根拠にもとづく推論とは何か、矛盾をどのように解決するか、公平で的確な判断をどのように行うかなどを経験することによって、独創的で批判的なものの考え方を理解し身につけること。

【Additional Question 3: Ability to think creatively and criticize constructively】

Through learning and practicing what the evidence-based deduction is, how to solve contradiction, and how to make a right and impartial decision, I have developed an understanding and an ability of creative and critical attitude.

- かなり向上した / Significantly improved
- 少し向上した / Somewhat improved
- どちらともいえない / Cannot say either way
- あまり向上しなかった / Not so improved
- 向上しなかった / Not at all improved

Q24 【追加設問4：社会的責任と普遍的な倫理観】 制度や科学技術が高度に発達した社会において、人間としてあるいは市民としての普遍的な倫理について、具体的な事例の検討を通じて考えること。

【Additional question 4: Social responsibility and universal ethical perspective】

Through examining case studies, I put myself to think universal ethics as a human being or a citizen in the society with highly developed institutions and science & technology.

- かなり向上した / Significantly improved
- 少し向上した / Somewhat improved
- どちらともいえない / Cannot say either way
- あまり向上しなかった / Not so improved
- 向上しなかった / Not at all improved

Q26～Q29は、授業固有の項目について独自に設定する設問です。授業担当教員から指示があった場合のみ回答してください。 Questions 26 through 29 are set up for specific items in the class. Please answer these questions only if instructed to do so by the course instructor.

Q25 【追加設問5】 Additional question 5

- 5
- 4

- 3
- 2
- 1

Q26 【追加設問 6】 Additional question 6

- 5
- 4
- 3
- 2
- 1

Q27 【追加設問 7】 Additional question 7

- 5
- 4
- 3
- 2
- 1

Q28 【追加設問 8】 Additional question 8

- 5
- 4
- 3
- 2
- 1

閉じる

## 5. 調査対象の解析

### アンケートの依頼・実施者数（令和4年度）

部局等名 (授業を担当する教員がいる部局)	教員数 (R4.5.1)	担当 教員数	実施 教員数	実施 授業数	実施率 (実施教員数/ 担当教員数)	回収率 (実施授業数/ 担当教員数)
文学研究院	93	78 (2)	54	64	69.23%	82.05%
教育学研究院	37	21 2	16	18	76.19%	85.71%
法学研究科	65	24	20	24	83.33%	100.00%
経済学研究院	41	26	17	17	65.38%	65.38%
理学研究院	189	97 (5)	63	93	64.95%	95.88%
医学研究院	172	13	11	13	84.62%	100.00%
歯学研究院	76	8 (1)	5	6	62.50%	75.00%
薬学研究院	61	9	7	8	77.78%	88.89%
工学研究院	272	48 1	31	32	64.58%	66.67%
農学研究院	122	18 1	10	12	55.56%	66.67%
獣医学研究院	65	8 1	6	6	75.00%	75.00%
水産科学研究院	73	9	7	7	77.78%	77.78%
メディア・コミュニケーション研究院	68	59 (13)	53	212	89.83%	359.32%
保健科学研究院	70	7	4	4	57.14%	57.14%
情報科学研究院	107	23	14	14	60.87%	60.87%
地球環境科学研究院	50	26 (1)	20	25	76.92%	96.15%
先端生命科学研究院	36	7	5	6	71.43%	85.71%
公共政策学連携研究部	18	7	5	5	71.43%	71.43%
低温科学研究所	46	6	6	6	100.00%	100.00%
電子科学研究所	50	14 (2)	8	11	57.14%	78.57%
遺伝子病制御研究所	39	4	2	2	50.00%	50.00%
触媒科学研究所	18	4	3	3	75.00%	75.00%
スラブ・ユーラシア研究センター	17	2	1	1	50.00%	50.00%
情報基盤センター	13	4	3	5	75.00%	125.00%
総合博物館	8	1			0.00%	0.00%
北方生物圏フィールド科学センター	39	10	7	8	70.00%	80.00%
人獣共通感染症リサーチセンター	25	1	1	1	100.00%	100.00%
観光学高等研究センター	3	1	1	1	100.00%	100.00%
アイヌ・先住民研究センター	9	2			0.00%	0.00%
保健センター	1	1	1	1	100.00%	100.00%
数理・データサイエンス教育研究センター	5	1 (1)			0.00%	0.00%
高等教育推進機構	32	22 (3)	18	36	81.82%	163.64%
大学院教育推進機構	17	8 (7)	8	11	100.00%	137.50%
学生相談総合センター	4	2	1	1	50.00%	50.00%
本学教員小計	1,941	571 (40)	408	653	71.45%	114.36%
非常勤講師小計		126	84	153	66.67%	121.43%
合計	1,941	697 (40)	492	806	70.59%	115.64%

※ 教員数は、令和3年5月1日現在の在籍数。

※ 担当教員数のかつこには、特任教員数で内数。また、非常勤講師は、令和4年度に全学教育科目の授業を担当した実数。

※ 担当教員数(全学教育科目授業を担当した教員)及び実施教員数(授業アンケートを提出した教員)は実数。授業アンケート実施後に所属を異動した場合でも、授業アンケート実施当時の所属でカウント。

※ 回収率は、授業数(同一教員が複数の授業についてアンケートを実施した場合を含む)を担当教員数で除したもので、担当教員あたりの延べ実施率。

### (参考) 令和3年度実績

部局等名 (授業を担当する教員がいる部局)	教員数 (R3.5.1)	担当 教員数	実施 教員数	実施 授業数	実施率 (実施教員数/ 担当教員数)	回収率 (実施授業数/ 担当教員数)
本学教員小計	1,953	573 (34)	384	615	67.02%	107.33%
非常勤講師小計	114	114	65	114	57.02%	100.00%
合計	2,067	687 (34)	449	729	65.36%	106.11%



## 6. アンケート結果と解析

### 授業の総合評価

総合評点は、設問 1～2, 5～10, 15～16 の選択肢を評点とし、平均したものである。また、アンケート対象を全学教育科目に絞り、科目を「外国語」「講義科目」「演習科目」「必修科目」「選択科目」に分類した。その結果、総合評点は、以下のようになった。なお、表中では1学期を「前」、2学期を「後」と表記している。

	29 前・後	30 前・後	元前・後	2 前・後	3 前・後	4 前・後
全学教育全体	4.12	4.11	4.02	4.01	4.09	4.12
外国語	4.39	4.36	4.25	4.11	4.2	4.28
講義科目	4.05	4.04	3.98	3.96	4.03	4.06
演習科目	4.47	4.46	4.37	4.29	4.37	4.39
必修科目	3.99	4.03	3.94	3.88	3.95	4.02
選択科目	4.24	4.15	4.08	4.15	4.24	4.24

※図および表中の数値について

図および表中の数値は最小桁についての四捨五入で表している。このため、表示桁数の違いで値が異なることや、個々のデータの和が合計値と異なることがある。

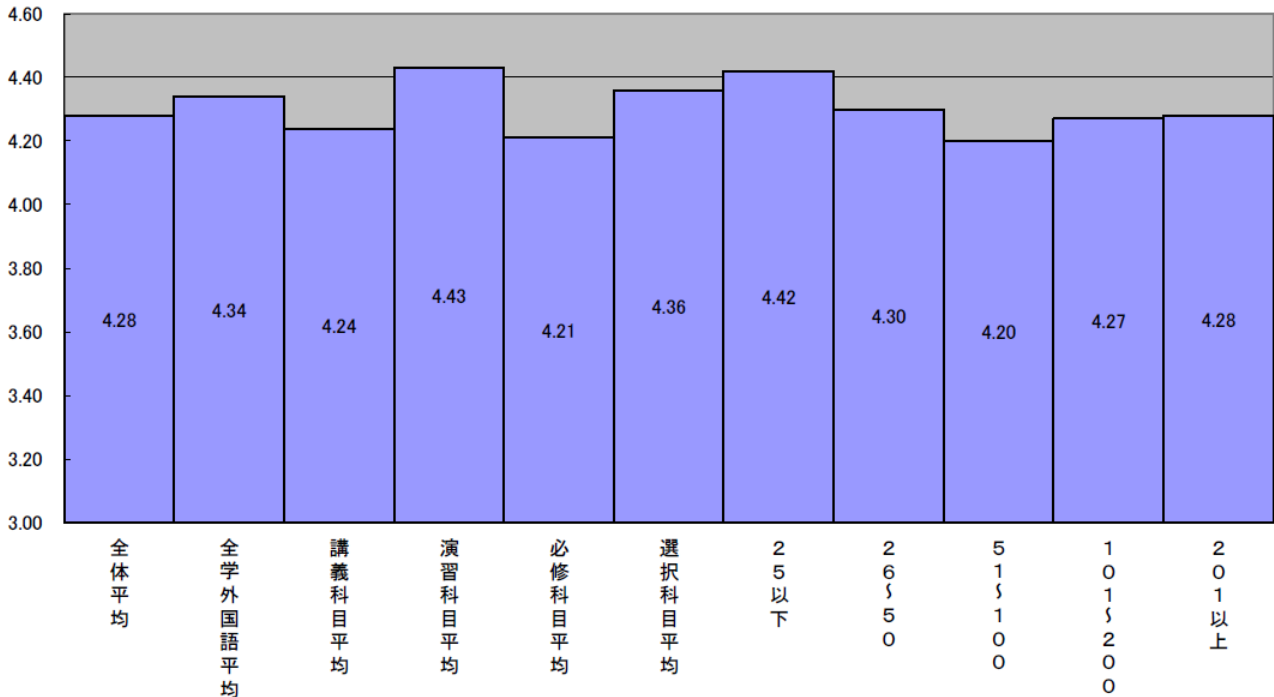
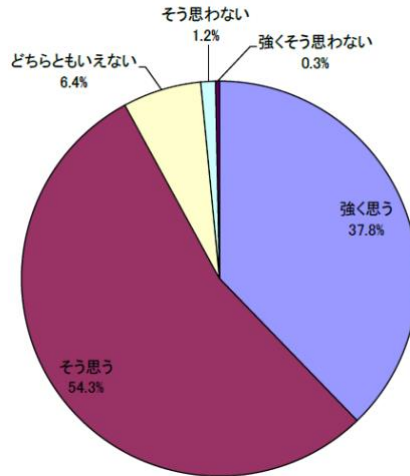
## A 授業内容に関する項目

### 設問1 シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。

円グラフ：令和4年度1学期と2学期の回答比率（無回答を除く）を表す（以下各設問同様）。

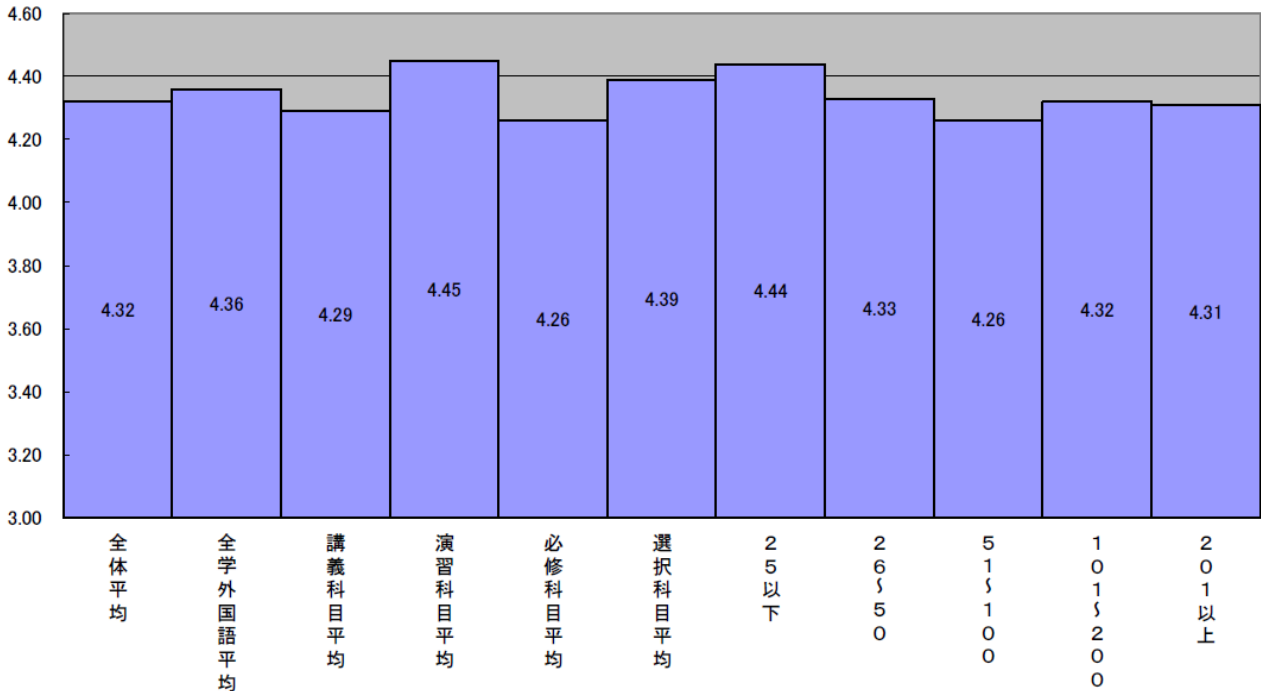
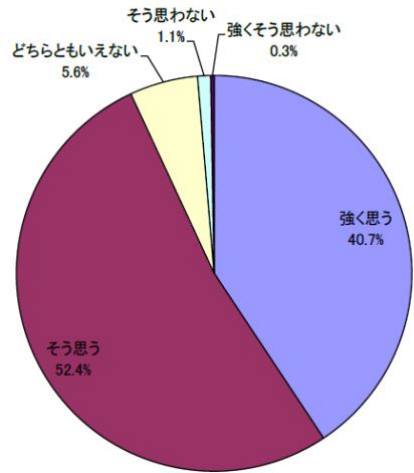
棒グラフ：この設問について、各分類における評点の平均値を表す（以下各設問同様）。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	86.1%	87.8%	90.5%	93.0%	92.1%	1.4%	1.6%	2.0%	1.5%	1.5%
外国語	90.5%	91.2%	87.7%	93.9%	93.7%	0.8%	0.6%	2.9%	1.2%	1.3%
講義科目	85.0%	87.0%	90.1%	92.4%	91.3%	1.5%	1.7%	2.1%	1.6%	1.6%
演習科目	92.5%	94.4%	92.2%	95.9%	95.4%	0.7%	0.6%	1.9%	1.0%	1.0%
必修科目	83.0%	85.5%	87.8%	90.9%	90.2%	1.6%	1.4%	2.7%	1.9%	1.9%
選択科目	88.2%	89.4%	93.2%	95.3%	94.2%	1.3%	1.6%	1.4%	1.1%	1.1%



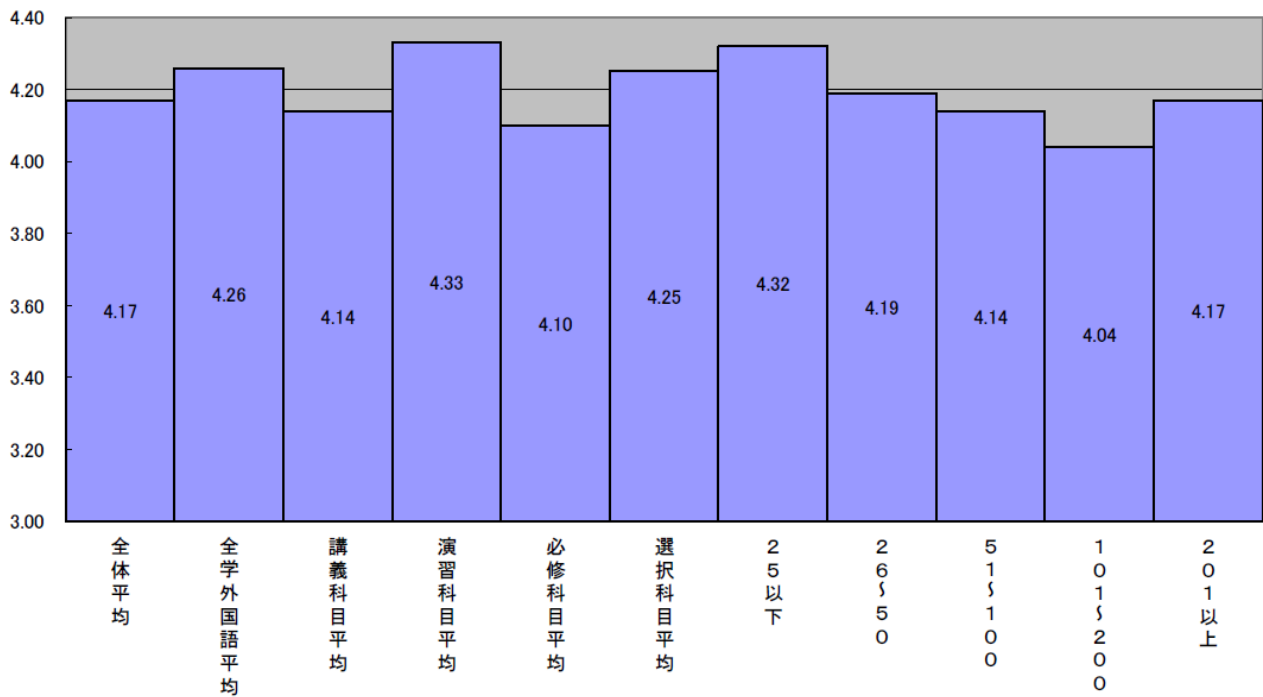
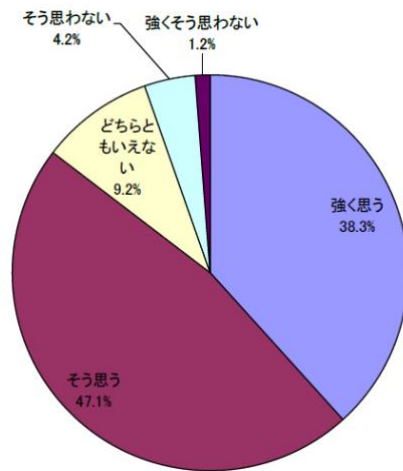
設問2 授業はシラバスにそって行われていた。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	86.5%	88.3%	90.7%	92.9%	93.1%	1.5%	1.6%	1.9%	1.3%	1.4%
外国語	90.6%	91.6%	86.8%	92.5%	93.7%	0.9%	0.6%	3.3%	1.4%	1.3%
講義科目	85.5%	87.7%	90.5%	92.6%	92.4%	1.6%	1.7%	2.0%	1.4%	1.4%
演習科目	91.9%	94.0%	91.4%	94.5%	95.8%	0.9%	0.7%	1.8%	1.2%	1.0%
必修科目	83.5%	86.9%	88.5%	91.8%	91.7%	1.5%	1.3%	2.6%	1.5%	1.4%
選択科目	88.4%	89.4%	92.9%	94.3%	94.6%	1.5%	1.8%	1.3%	1.2%	1.3%



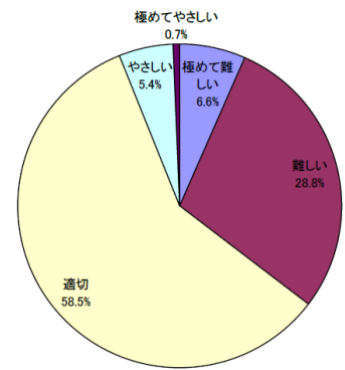
**設問3 授業で要求される作業量（レポート、宿題、自習など）は適切であった。**

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	81.2%	83.2%	83.2%	85.6%	85.4%	5.4%	5.1%	6.8%	5.3%	5.4%
外国語	87.6%	87.5%	83.0%	85.5%	87.3%	3.2%	3.9%	6.7%	4.8%	4.5%
講義科目	80.4%	82.5%	82.5%	84.8%	84.5%	5.5%	5.3%	7.2%	5.6%	5.9%
演習科目	85.4%	89.5%	87.0%	89.5%	89.4%	4.9%	3.1%	4.8%	3.6%	3.1%
必修科目	77.8%	80.3%	78.9%	81.9%	83.3%	7.6%	7.1%	9.3%	7.3%	6.9%
選択科目	83.4%	85.3%	87.7%	89.9%	87.8%	3.9%	3.7%	4.2%	2.9%	3.6%

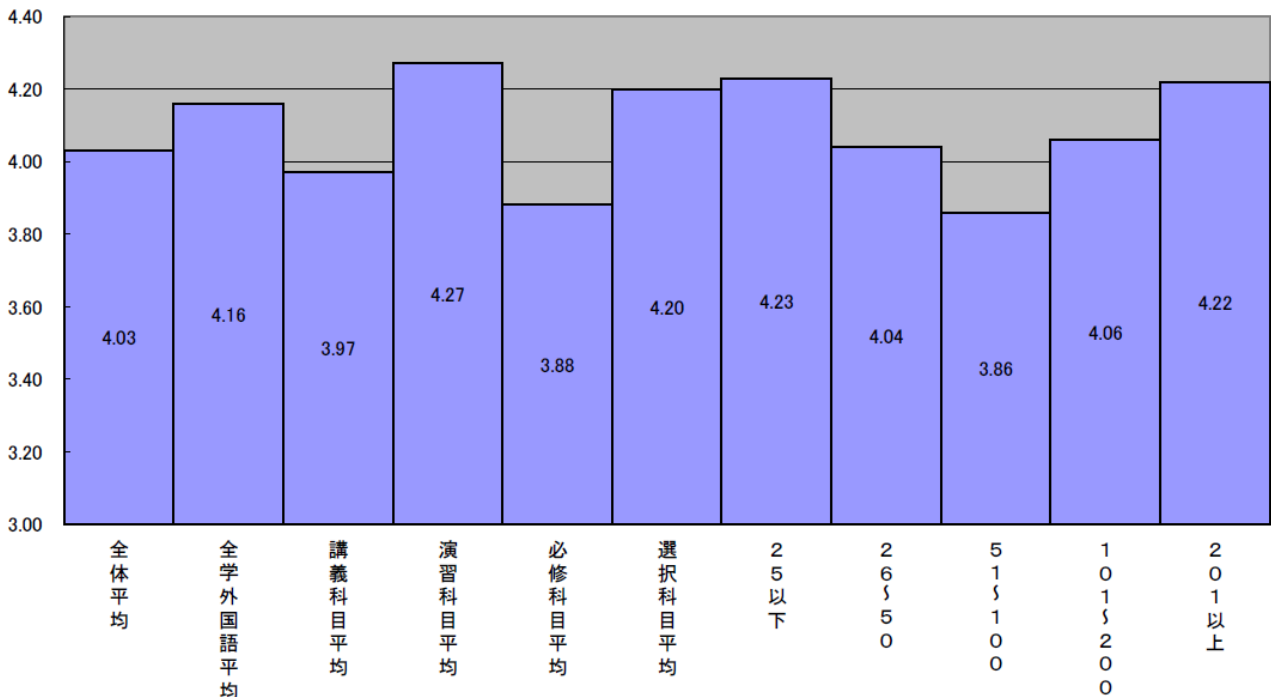


設問4 授業内容の難易度は適切であった。

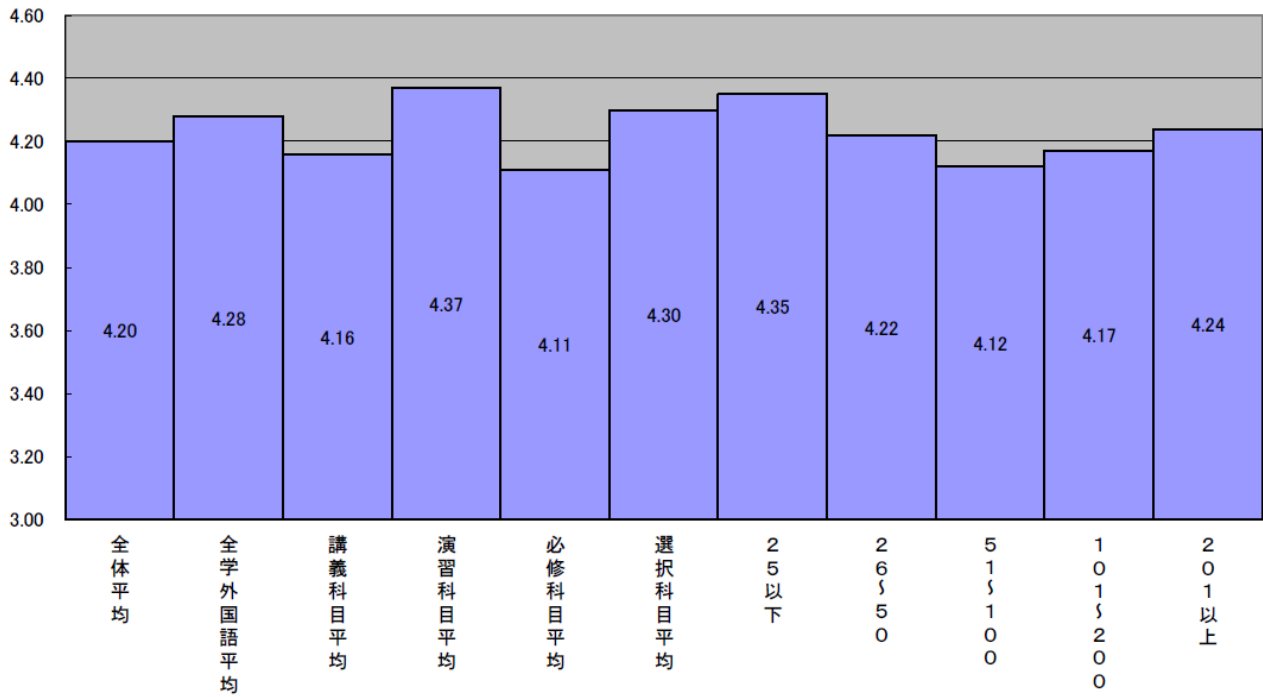
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
極めて難しい	10.1%	8.2%	5.4%	5.6%	6.6%
難しい	28.9%	28.1%	28.8%	27.6%	28.8%
適切	55.7%	58.6%	62.1%	61.6%	58.6%
やさしい	4.6%	4.3%	3.5%	4.7%	5.4%
極めてやさしい	0.8%	0.7%	0.3%	0.5%	0.7%



	極めて難しい +極めてやさしい (評点AとEの合計)					難しい +やさしい (評点BとDの合計)					適切 (評点C)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	10.8%	9.0%	5.6%	6.1%	7.2%	33.5%	32.4%	32.3%	32.3%	34.2%	55.7%	58.6%	62.1%	61.6%	58.6%
外国語	6.6%	5.8%	3.7%	4.4%	5.9%	28.2%	26.8%	29.3%	29.5%	30.1%	65.2%	67.3%	67.0%	66.1%	64.1%
講義科目	11.6%	9.4%	5.9%	6.6%	7.9%	34.2%	33.1%	33.3%	33.4%	35.7%	54.2%	57.5%	60.8%	60.1%	56.4%
演習科目	6.7%	5.0%	4.1%	3.7%	4.4%	29.2%	27.1%	26.9%	27.0%	27.6%	64.1%	67.9%	69.1%	69.3%	68.0%
必修科目	14.4%	11.2%	7.8%	8.3%	9.3%	36.7%	35.8%	37.6%	37.6%	37.7%	49.0%	53.0%	54.7%	54.1%	53.1%
選択科目	8.5%	7.3%	3.4%	3.6%	4.9%	31.4%	30.1%	26.8%	26.1%	30.2%	60.2%	62.6%	69.9%	70.3%	64.9%



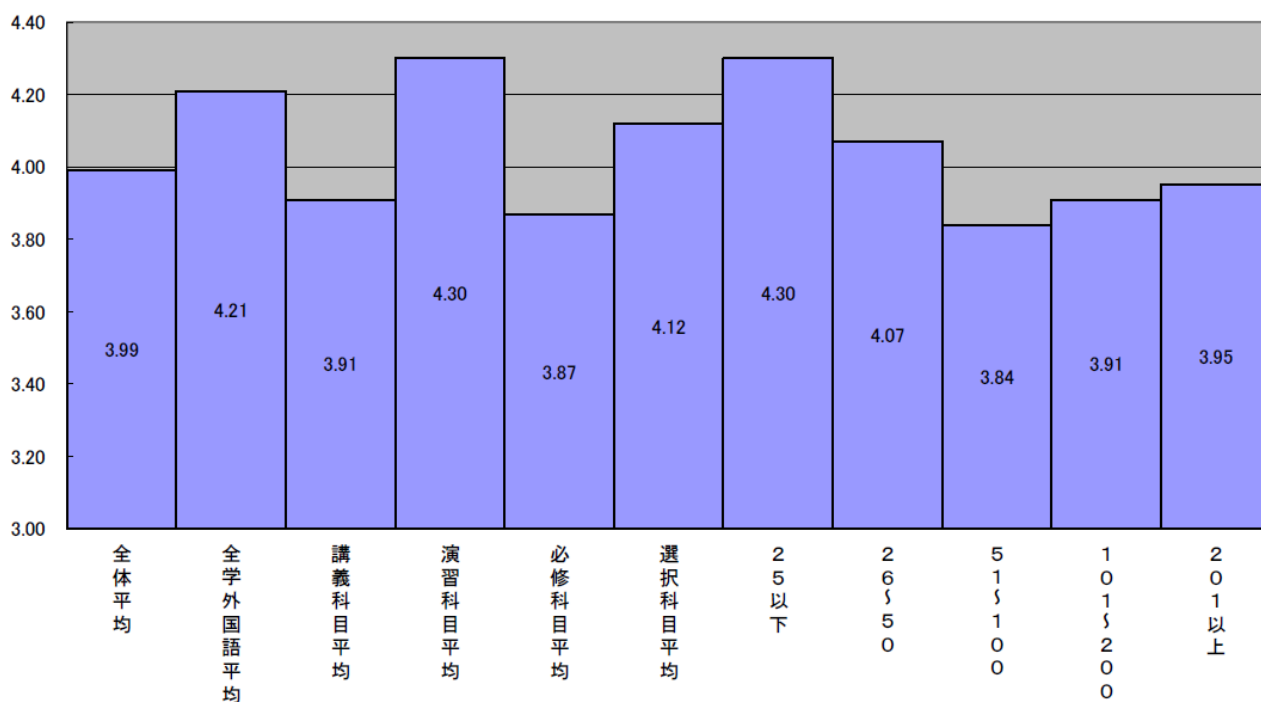
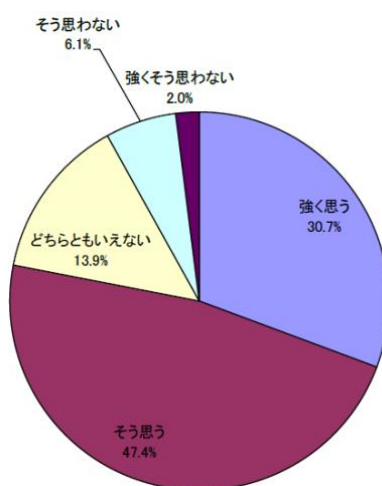
【設問 1～4の合計】



## B 授業手法, 教員の行動

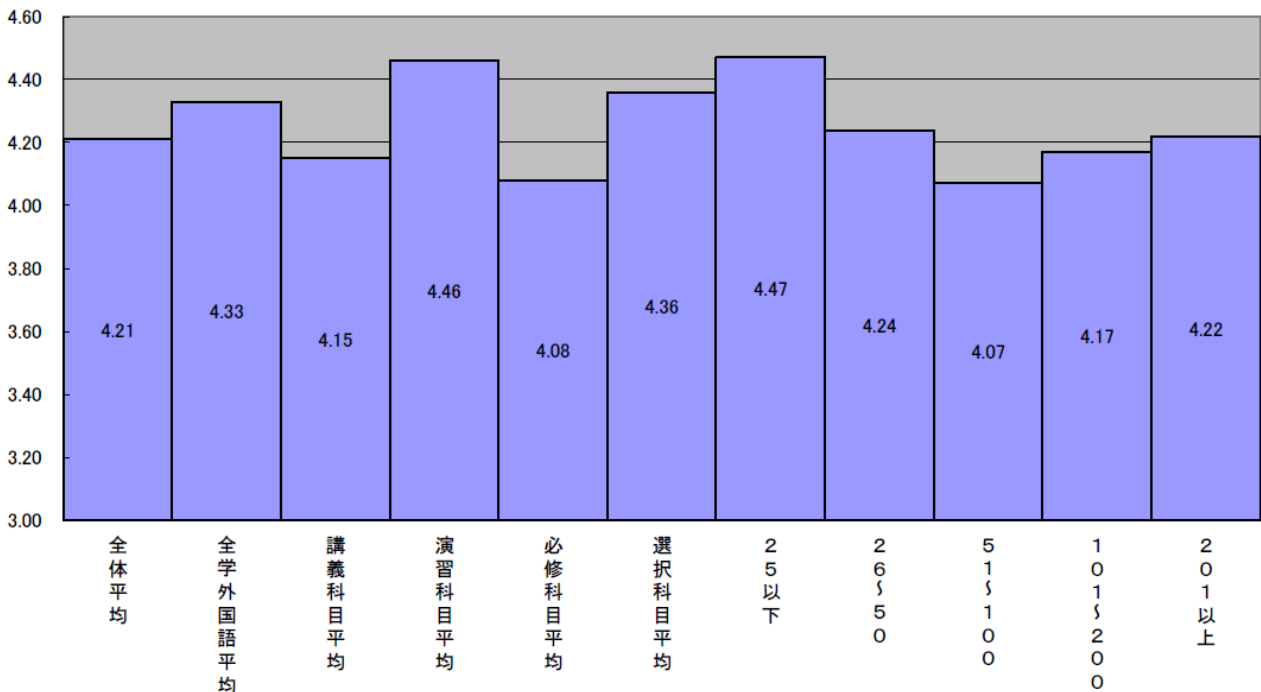
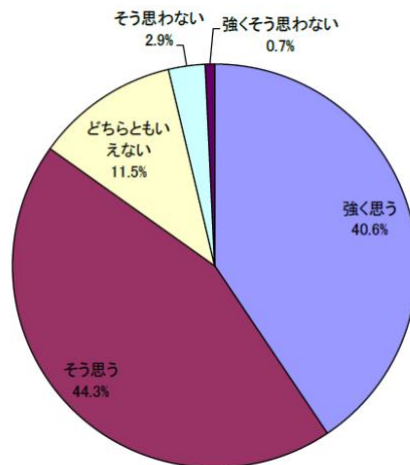
### 設問5 教員の説明はわかりやすかった。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	75.9%	74.2%	75.7%	78.8%	78.0%	7.7%	8.6%	8.4%	7.6%	8.1%
外国語	88.1%	84.8%	81.1%	85.2%	85.9%	2.8%	3.7%	5.8%	4.4%	4.1%
講義科目	73.4%	72.5%	73.7%	76.5%	75.3%	8.6%	9.4%	9.2%	8.5%	9.4%
演習科目	90.2%	89.0%	86.7%	90.3%	90.0%	2.1%	2.4%	3.9%	2.7%	2.1%
必修科目	71.0%	68.3%	68.6%	72.0%	73.3%	10.5%	12.1%	11.8%	11.1%	10.8%
選択科目	79.1%	78.4%	83.1%	86.7%	83.4%	5.7%	6.2%	4.7%	3.4%	4.9%



設問6 教員の熱意が伝わってきた。

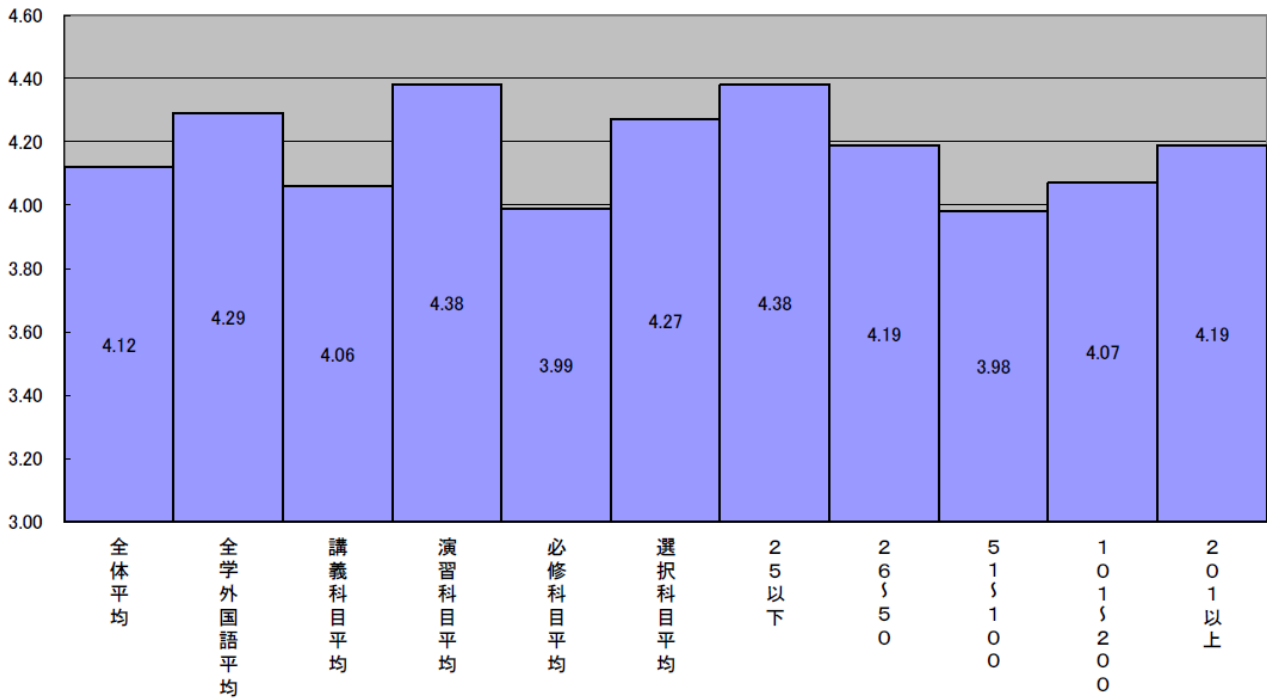
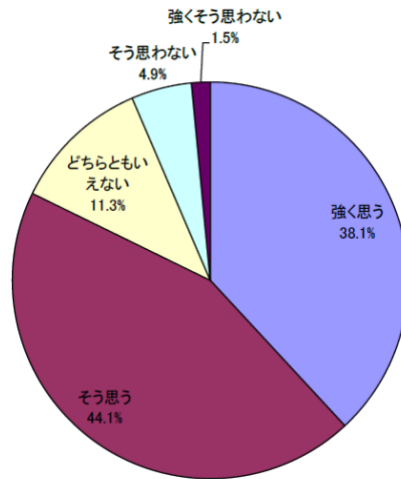
	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	81.3%	81.1%	79.9%	81.8%	84.8%	4.3%	4.3%	5.0%	4.5%	3.7%
外国語	90.2%	88.6%	85.3%	86.4%	89.5%	1.6%	1.7%	3.6%	3.1%	2.0%
講義科目	79.5%	79.8%	78.0%	79.5%	82.9%	4.8%	4.7%	5.6%	5.2%	4.3%
演習科目	91.1%	92.6%	90.6%	93.6%	93.6%	1.6%	1.0%	1.6%	1.0%	1.0%
必修科目	75.8%	75.8%	73.6%	73.9%	80.0%	6.4%	6.3%	7.3%	6.9%	5.1%
選択科目	84.8%	84.9%	86.6%	91.0%	90.4%	3.0%	2.8%	2.6%	1.7%	2.0%





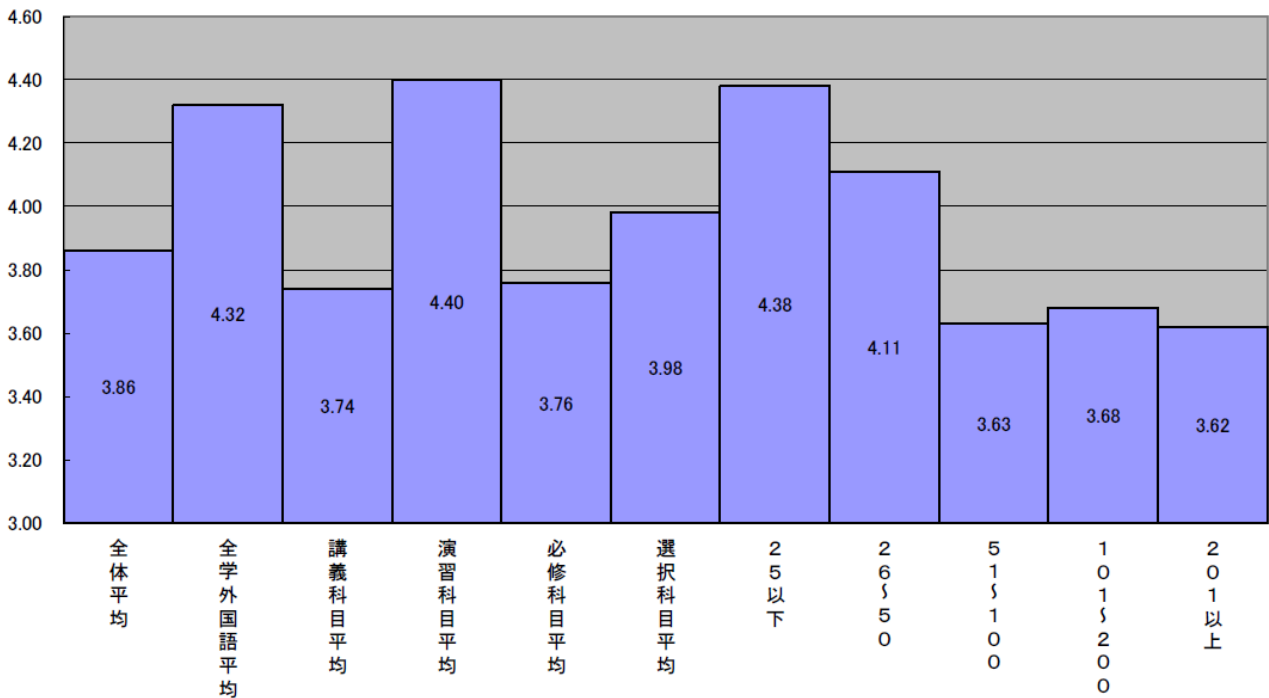
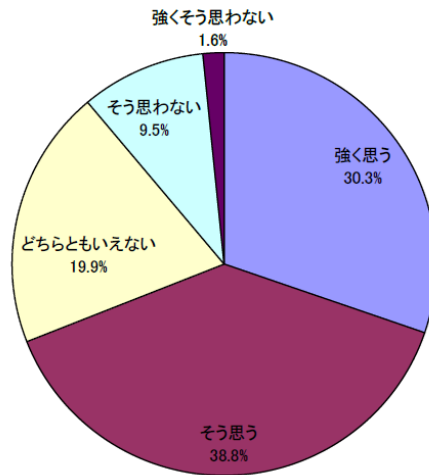
設問7 教員の話し方は聞き取りやすかった。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	79.0%	78.5%	80.9%	83.5%	82.2%	6.5%	7.0%	5.4%	4.8%	6.5%
外国語	89.0%	86.0%	84.1%	87.6%	87.1%	2.5%	3.7%	4.1%	2.7%	4.2%
講義科目	76.9%	77.2%	79.4%	81.9%	80.3%	7.3%	7.6%	5.9%	5.3%	7.4%
演習科目	91.0%	89.8%	88.7%	91.4%	90.8%	1.9%	2.4%	2.7%	2.4%	2.3%
必修科目	74.0%	73.3%	76.0%	78.4%	77.1%	9.4%	10.1%	7.4%	6.9%	9.4%
選択科目	82.3%	82.2%	85.8%	89.4%	88.0%	4.5%	4.8%	3.4%	2.4%	3.1%



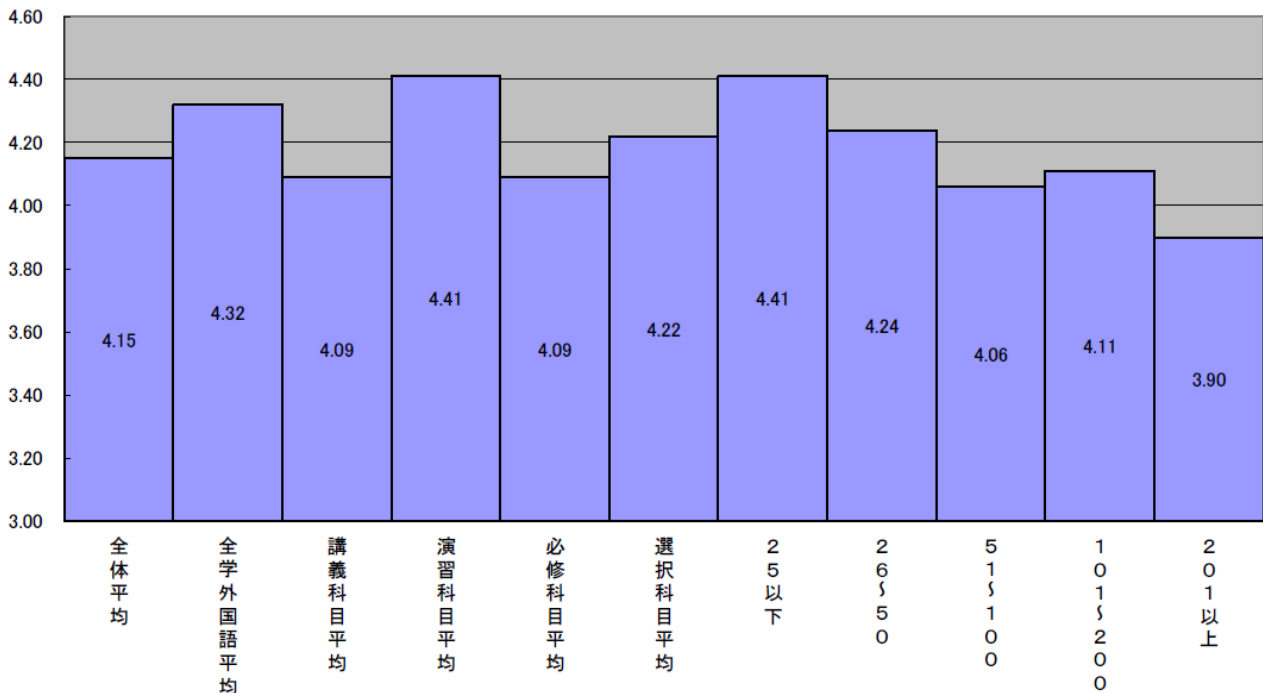
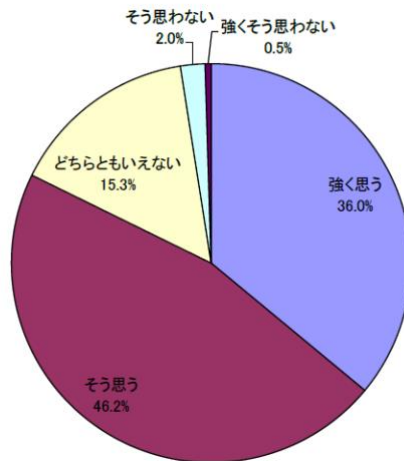
設問8 教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	66.4%	65.2%	65.4%	69.0%	69.0%	10.4%	11.1%	11.7%	10.4%	11.2%
外国語	90.8%	89.4%	84.4%	85.0%	88.4%	1.4%	2.0%	4.6%	4.7%	2.7%
講義科目	62.1%	62.2%	60.9%	64.4%	63.9%	11.9%	12.2%	13.4%	12.1%	13.2%
演習科目	90.9%	91.5%	88.8%	91.7%	90.9%	1.9%	1.5%	2.9%	2.1%	2.2%
必修科目	65.2%	65.1%	62.3%	63.2%	65.5%	11.9%	11.8%	13.3%	13.1%	13.0%
選択科目	67.2%	65.3%	68.5%	75.8%	72.9%	9.4%	10.5%	10.1%	7.3%	9.1%



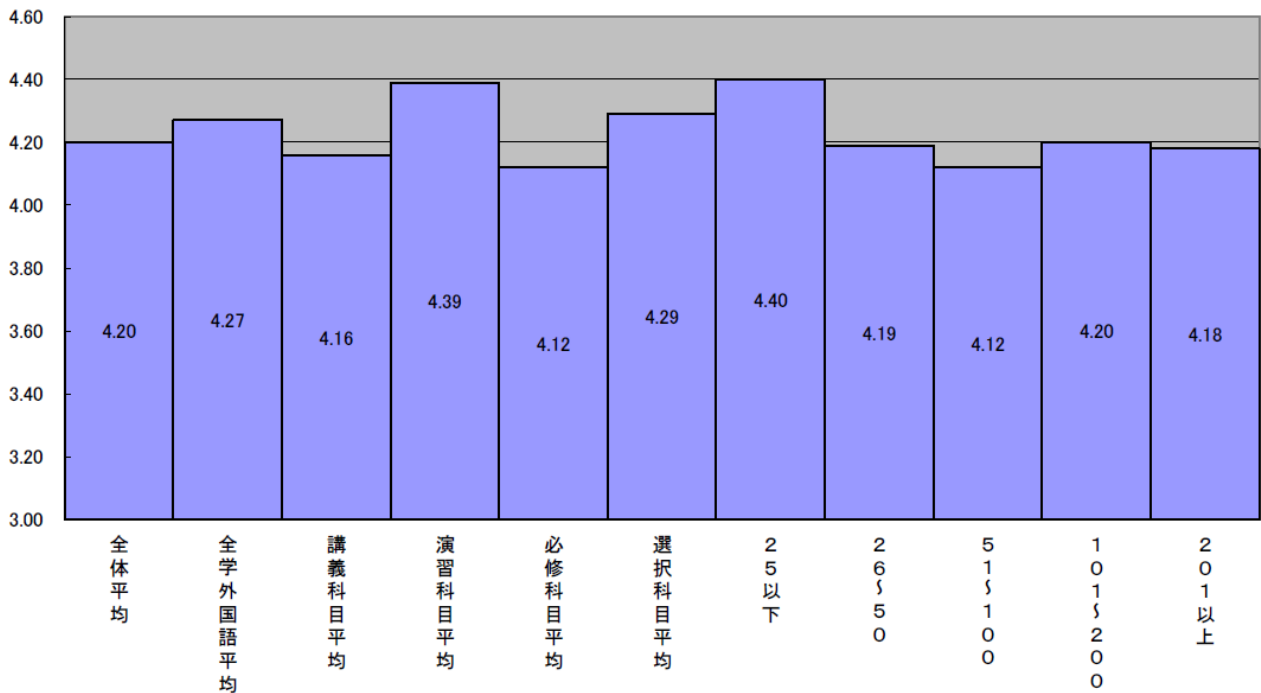
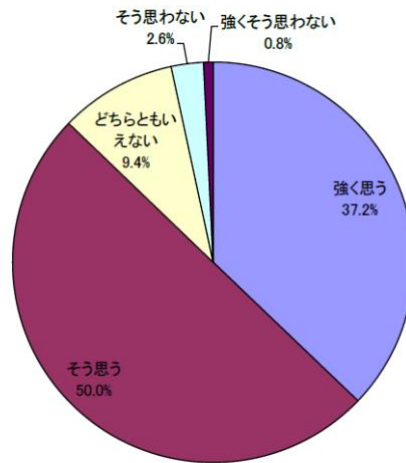
設問9 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	79.0%	77.6%	79.2%	82.3%	82.2%	2.8%	3.5%	4.2%	2.9%	2.5%
外国語	92.4%	91.0%	84.9%	87.3%	89.2%	1.0%	1.2%	4.2%	1.9%	1.4%
講義科目	76.4%	75.7%	76.8%	80.1%	80.0%	3.2%	3.8%	4.6%	3.2%	2.8%
演習科目	93.7%	94.1%	91.7%	93.3%	92.3%	0.8%	0.7%	1.7%	1.1%	1.1%
必修科目	79.1%	78.1%	75.6%	78.5%	80.4%	3.2%	4.1%	5.5%	3.7%	2.7%
選択科目	78.9%	77.3%	82.8%	86.7%	84.3%	2.6%	3.1%	2.9%	2.0%	2.3%

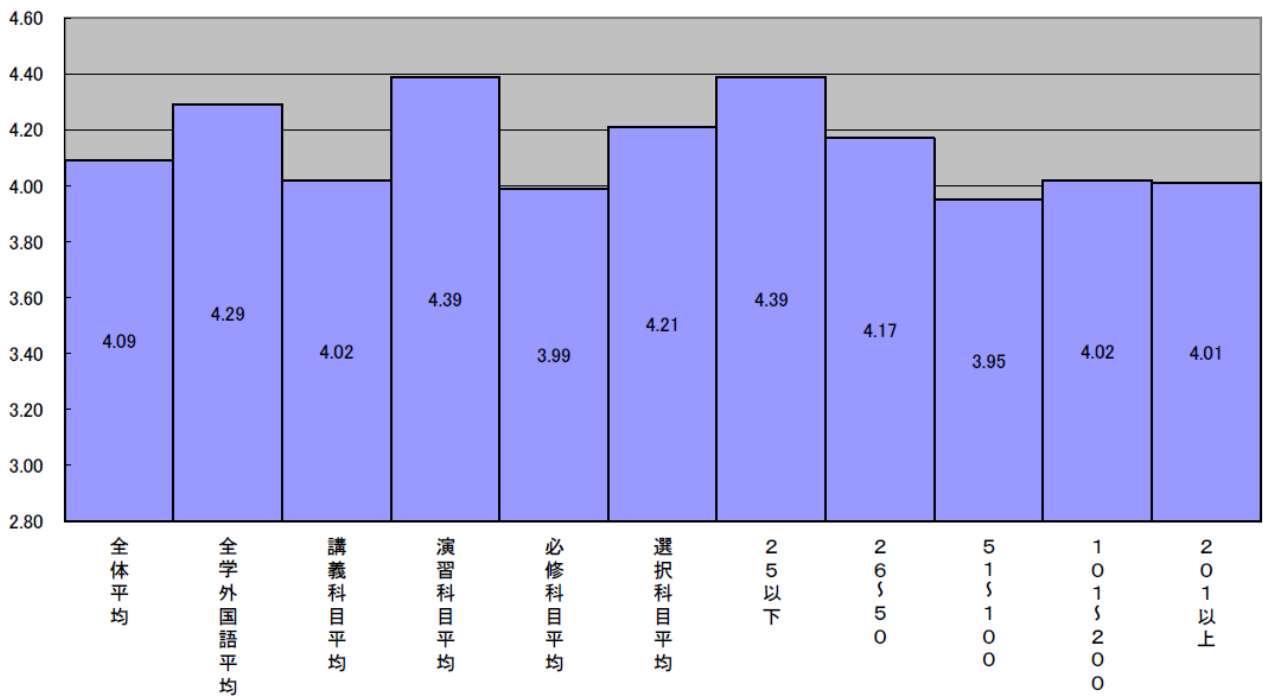


設問 10 黒板，教科書，プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	80.9%	81.7%	79.9%	83.8%	87.2%	4.8%	4.6%	5.1%	3.7%	3.4%
外国語	85.1%	85.2%	81.9%	85.8%	88.6%	2.2%	2.4%	3.7%	2.7%	2.5%
講義科目	79.6%	81.0%	78.7%	82.8%	86.0%	5.4%	5.0%	5.6%	4.1%	3.8%
演習科目	88.9%	88.2%	86.7%	89.1%	92.7%	1.4%	1.7%	2.2%	1.7%	1.3%
必修科目	77.7%	78.7%	76.7%	80.6%	84.5%	5.5%	5.6%	6.5%	5.1%	4.6%
選択科目	83.1%	83.9%	83.4%	87.5%	90.3%	4.4%	4.0%	3.6%	2.2%	2.0%



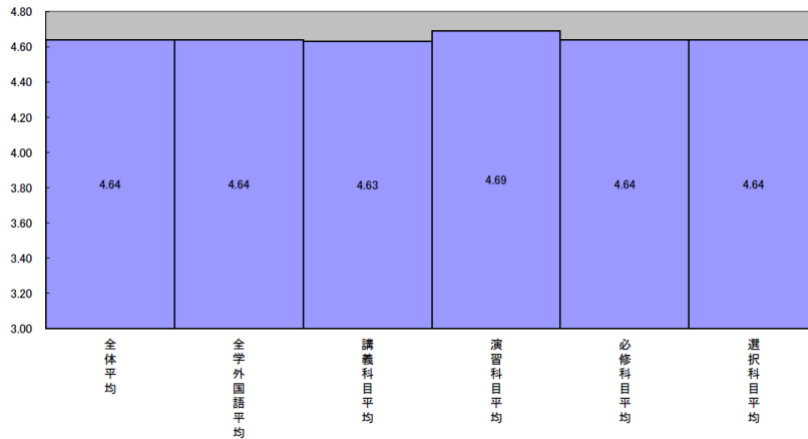
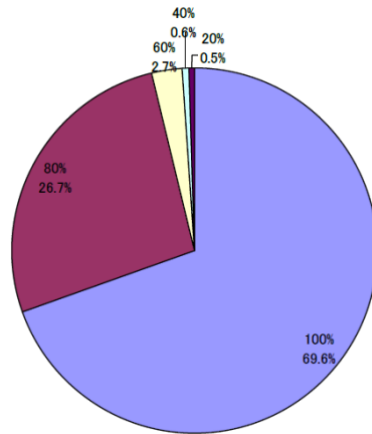
【設問5～10の合計】



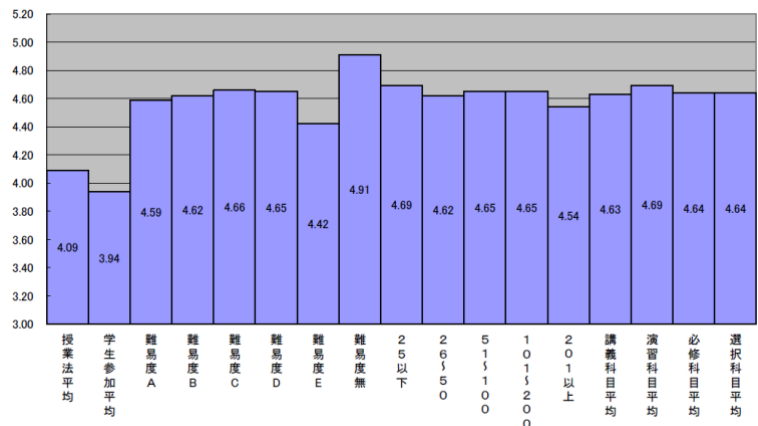
### C 学生の行動に関する項目

設問 11 この授業の自分の出席率は ( ) %程度であった。

	80%と100%の合計					20, 40, 60%の合計				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	94.8%	96.7%	98.0%	97.5%	96.2%	5.2%	3.3%	2.0%	2.5%	3.8%
外国語	96.9%	97.3%	95.6%	95.2%	96.8%	3.1%	2.7%	4.4%	4.8%	3.2%
講義科目	94.4%	96.4%	97.7%	97.1%	95.8%	5.7%	3.6%	2.3%	2.9%	4.2%
演習科目	97.1%	99.1%	99.2%	99.3%	98.2%	2.9%	0.9%	0.8%	0.7%	1.8%
必修科目	94.5%	96.5%	97.2%	96.7%	95.7%	5.6%	3.5%	2.8%	3.3%	4.3%
選択科目	95.0%	96.8%	98.7%	98.4%	96.8%	5.0%	3.2%	1.3%	1.6%	3.2%

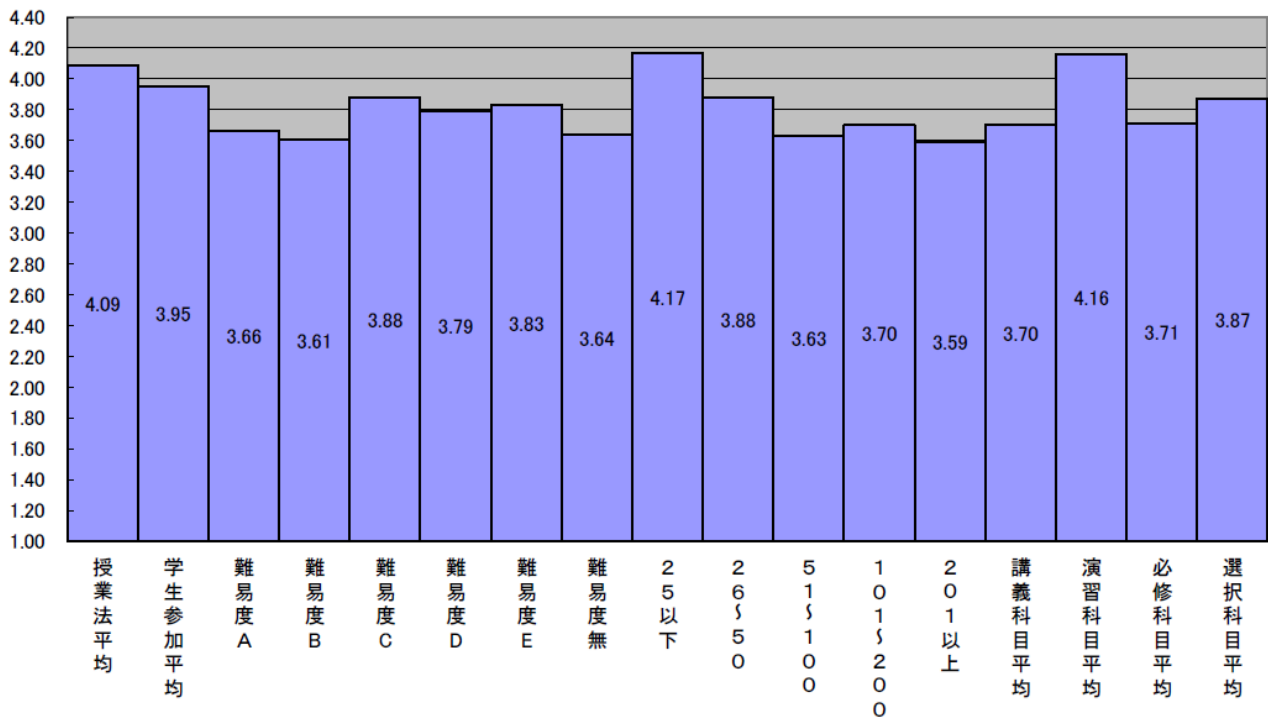
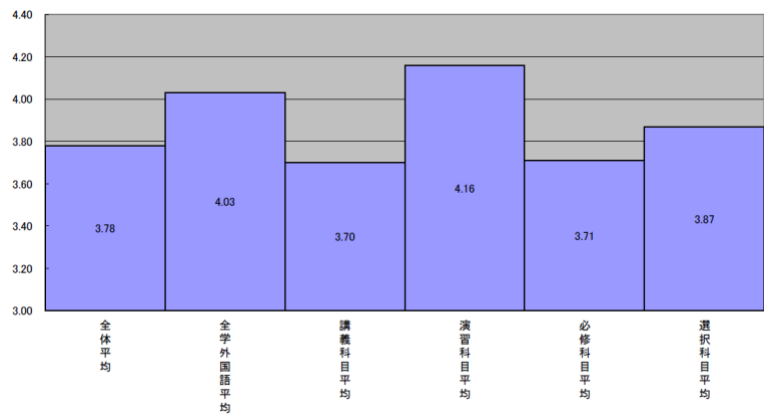
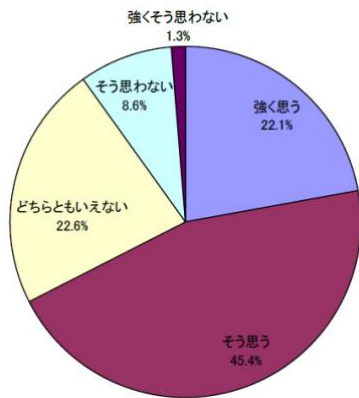


※右図において、「授業法平均」は設問5, 6, 7について集計した結果であり、「学生参加平均」は設問8, 9について集計した結果である。「難易度A」については、設問4において、「A:きわめて難しい」と答えた学生が本設問11でどのように回答したのかを評点の平均値で表している(他の難易度も同様「難易度無」は無回答)。さらに、「受講登録学生数」毎の本設問の評点の平均を示し、「講義科目平均」、「演習科目平均」、「必修科目平均」、「選択科目平均」については、上図の棒グラフと情報は重なるが、比較のために示した。(続く、設問12, 13のグラフも同様)



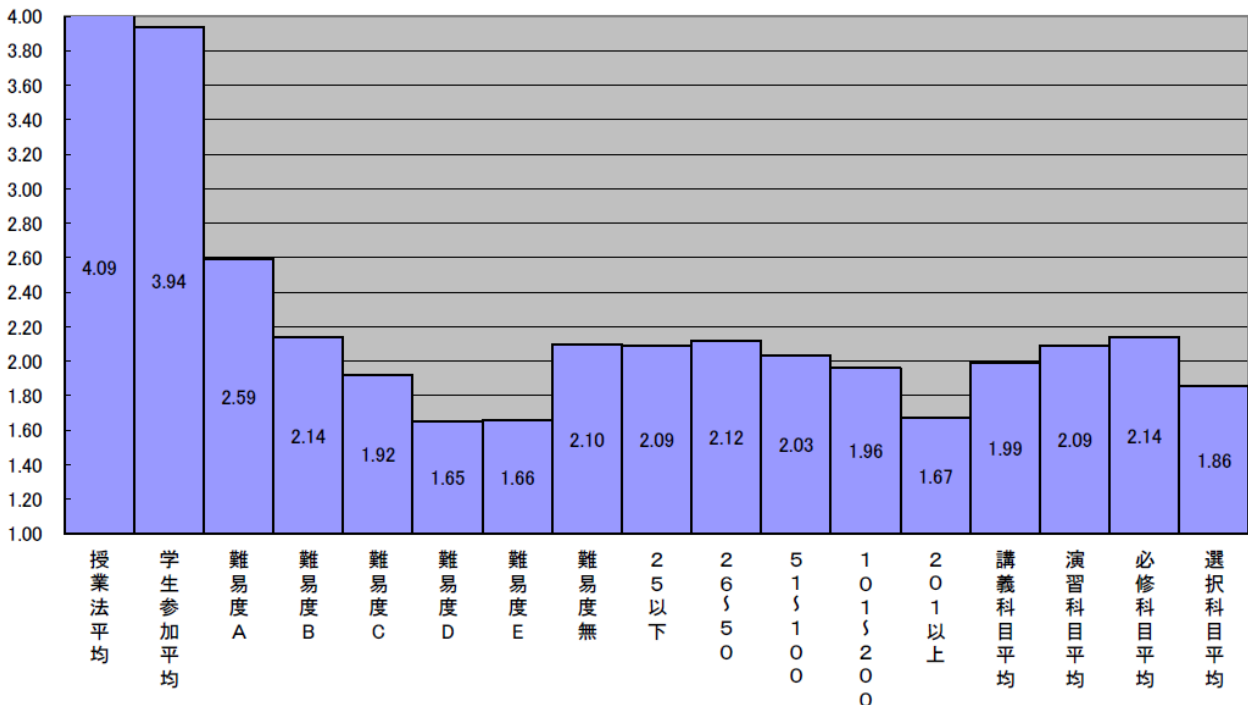
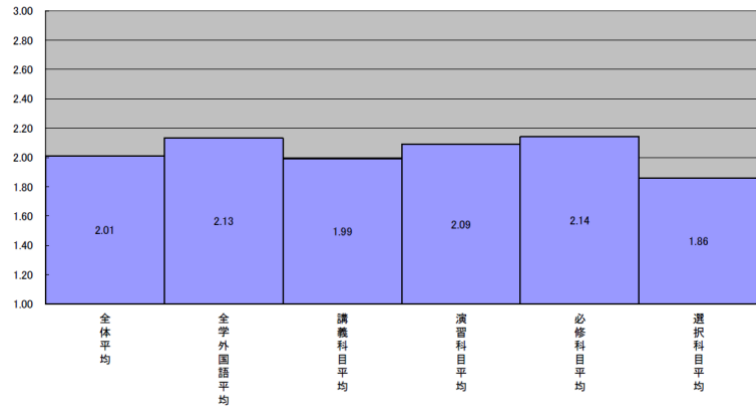
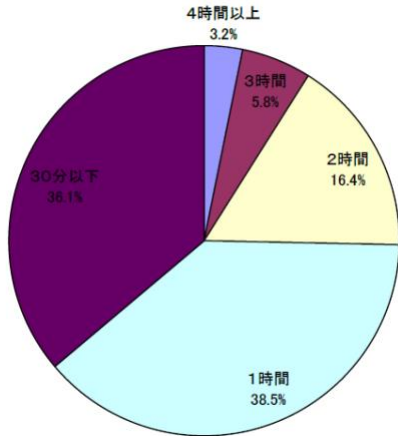
設問 12 質問, 発言, 調査, 自習などにより, 自分はこの授業に積極的に参加した。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	59.4%	62.4%	66.8%	66.4%	67.5%	11.0%	9.9%	9.3%	9.7%	9.9%
外国語	75.4%	75.7%	74.8%	75.1%	78.6%	5.1%	5.2%	7.0%	7.7%	4.8%
講義科目	55.5%	60.3%	63.8%	63.0%	63.7%	12.3%	10.7%	10.3%	11.0%	11.5%
演習科目	81.2%	80.6%	82.8%	83.7%	83.8%	3.7%	3.3%	3.6%	3.6%	3.2%
必修科目	57.7%	62.2%	63.6%	61.7%	64.6%	11.2%	10.4%	10.7%	11.7%	11.2%
選択科目	60.5%	62.6%	70.1%	71.9%	70.7%	10.8%	9.7%	7.7%	7.5%	8.5%



設問 13 この授業 1 回 (90 分) のための予習・復習に費やした時間は平均 ( ) であった。

	3時間以上					1時間以下				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	12.7%	7.9%	16.2%	10.4%	8.9%	70.6%	78.5%	58.5%	67.8%	74.7%
外国語	10.0%	7.5%	13.0%	9.2%	9.0%	69.3%	74.2%	60.3%	68.3%	71.6%
講義科目	12.3%	7.8%	16.2%	10.1%	8.6%	71.4%	78.9%	58.6%	68.1%	75.3%
演習科目	14.9%	8.3%	16.2%	12.1%	10.4%	66.4%	75.3%	58.4%	66.4%	72.1%
必修科目	17.2%	10.1%	20.6%	12.6%	10.3%	61.6%	73.1%	49.3%	62.0%	70.3%
選択科目	9.8%	6.3%	11.5%	7.9%	7.4%	76.6%	82.4%	68.2%	74.6%	79.8%

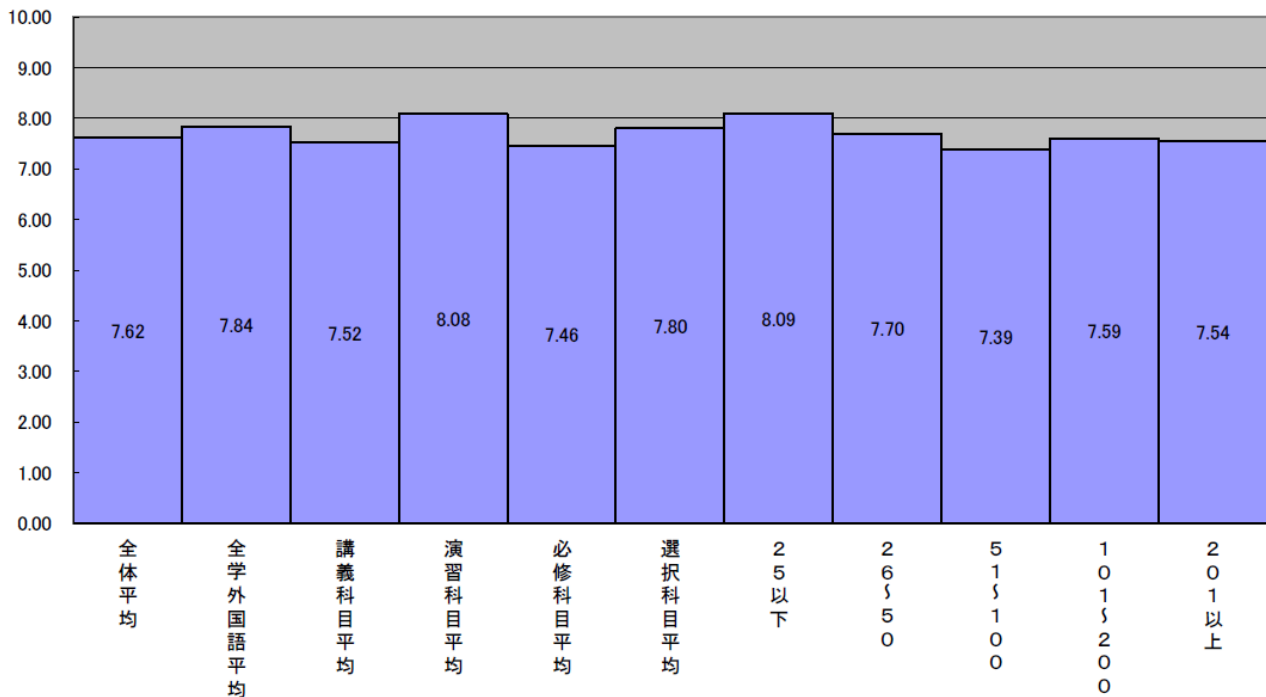
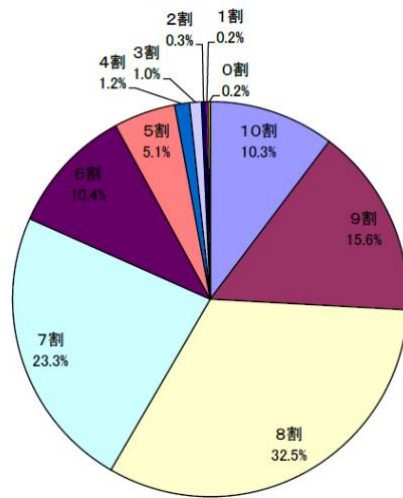




## D 教育効果

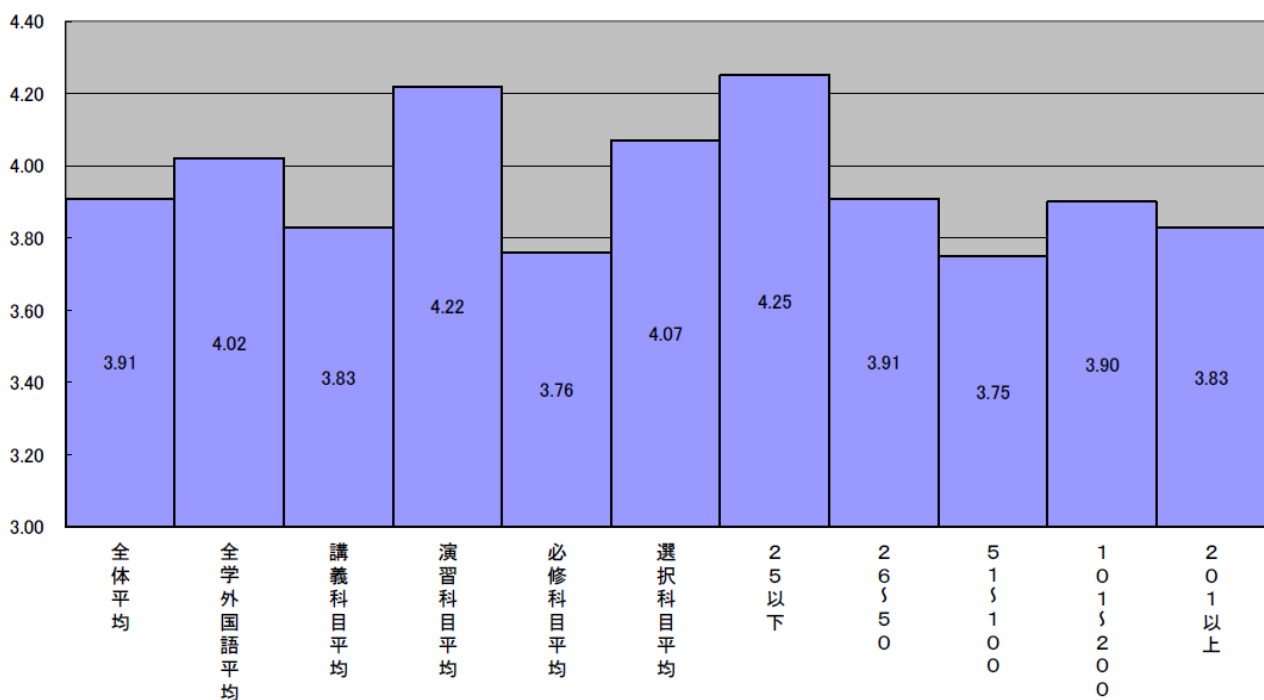
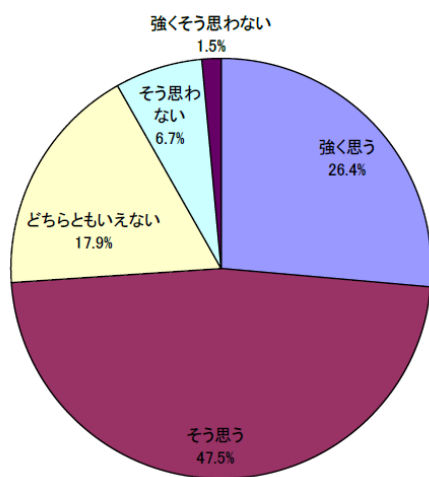
設問 14 私はシラバスの到達目標を（ ）割程度達成できた。

	8割以上					5割以下				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	49.9%	54.9%	59.0%	58.0%	58.3%	14.4%	10.3%	7.3%	7.7%	8.0%
外国語	58.7%	61.9%	59.9%	59.1%	65.2%	8.3%	6.4%	8.0%	7.3%	5.4%
講義科目	47.0%	53.3%	57.1%	55.4%	55.2%	15.8%	11.0%	7.8%	8.6%	9.1%
演習科目	66.5%	68.6%	69.2%	71.4%	72.2%	6.0%	4.2%	4.3%	2.9%	3.1%
必修科目	44.8%	52.8%	52.9%	51.3%	53.9%	18.4%	12.1%	9.5%	10.5%	10.0%
選択科目	53.2%	56.4%	65.4%	65.9%	63.4%	11.7%	9.1%	5.0%	4.4%	5.6%



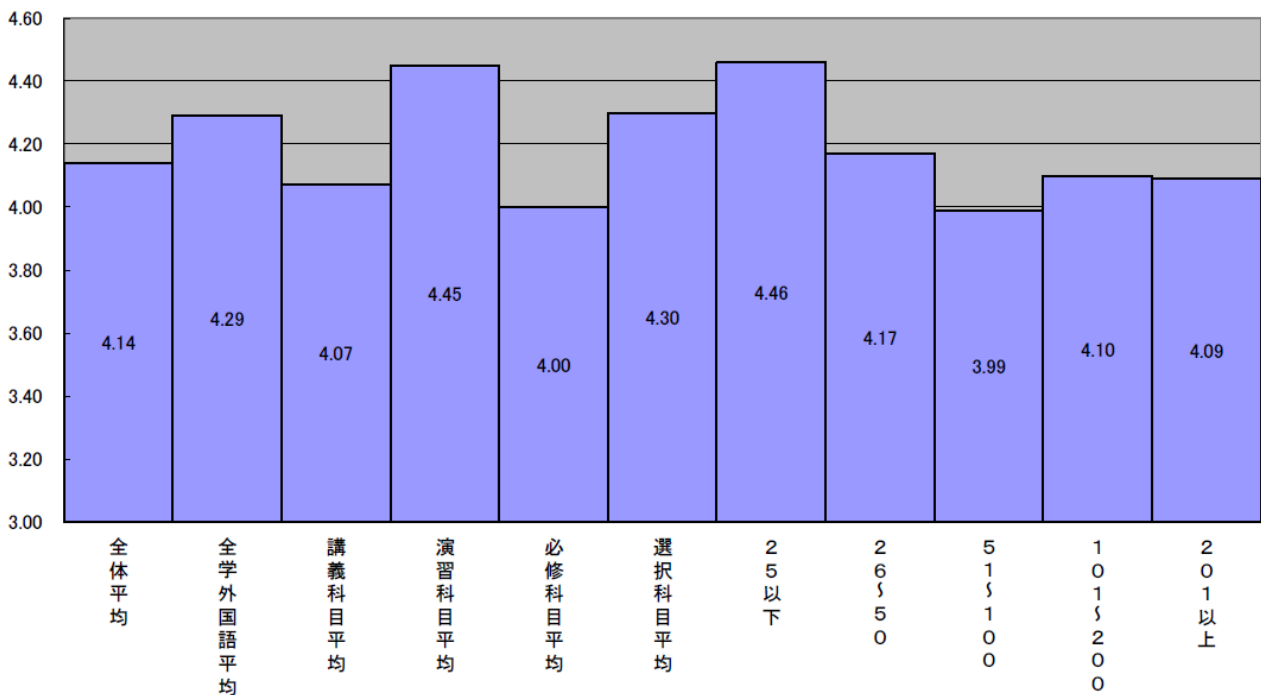
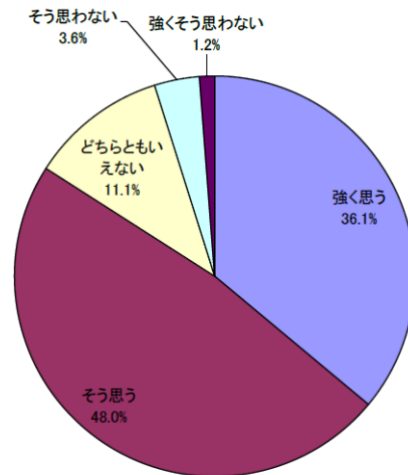
設問 15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。

	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	69.1%	70.5%	74.4%	74.6%	73.9%	8.9%	8.5%	8.0%	7.7%	8.2%
外国語	77.1%	77.3%	74.8%	76.8%	78.9%	5.4%	5.1%	7.8%	6.3%	6.1%
講義科目	66.4%	68.7%	72.3%	72.0%	71.1%	9.9%	9.3%	8.9%	8.8%	9.3%
演習科目	84.5%	86.3%	86.1%	87.9%	86.7%	3.4%	2.3%	3.4%	2.4%	3.4%
必修科目	62.1%	65.2%	66.2%	66.1%	67.8%	11.7%	11.0%	11.6%	11.2%	10.7%
選択科目	73.7%	74.2%	83.0%	84.7%	80.9%	7.1%	6.8%	4.3%	3.7%	5.4%

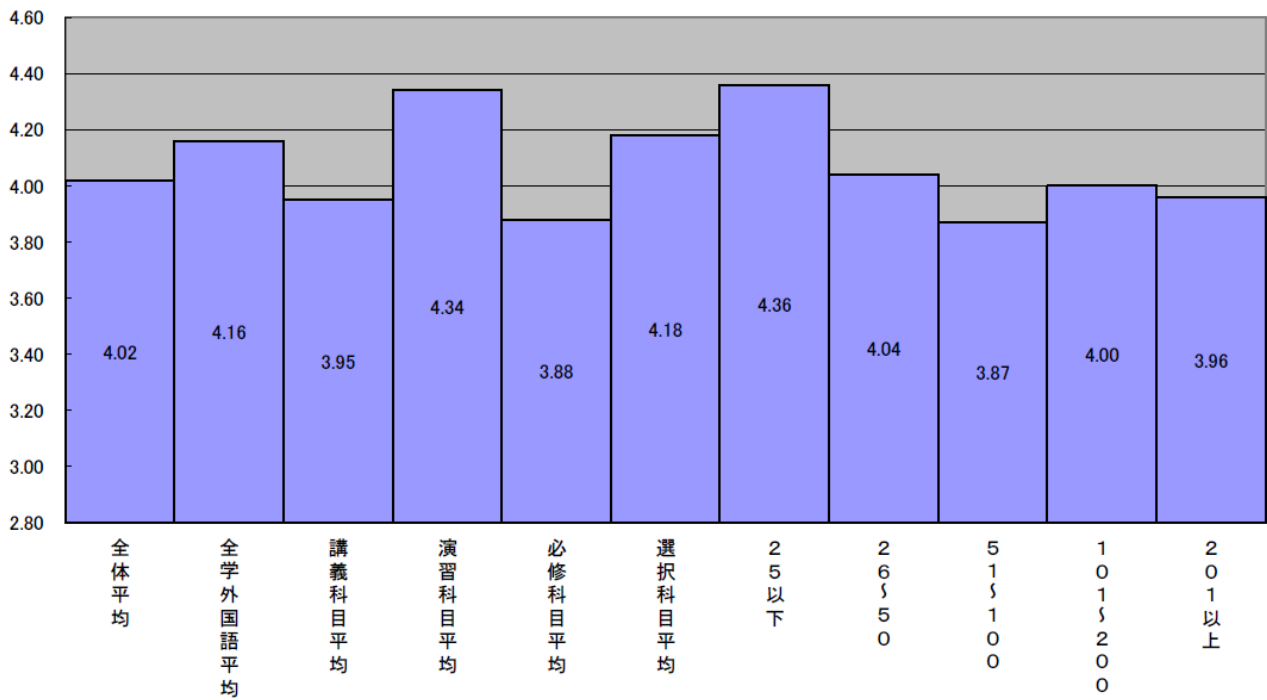


設問 16 授業は全体として満足できるものであった。

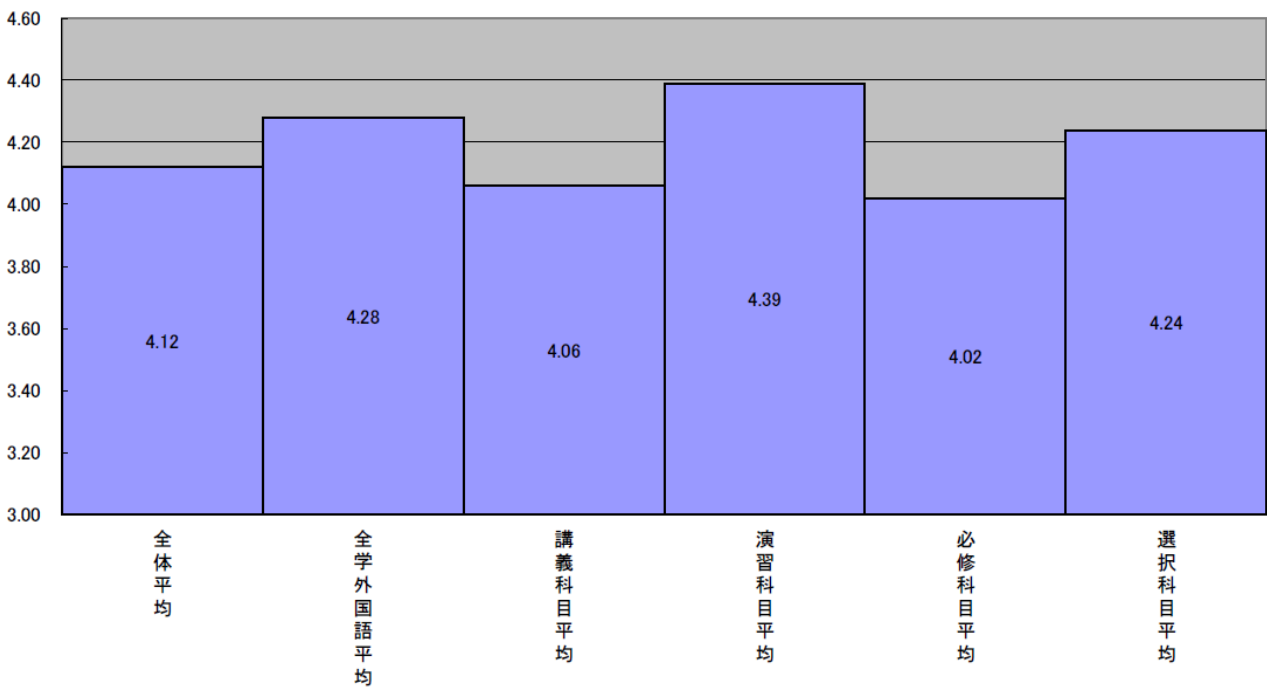
	そう思う (評点の4と5の合計)					そうは思わない (評点の1と2の合計)				
	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後	30前・後	元前・後	2前・後	3前・後	4前・後
全学教育全体	78.4%	79.2%	82.5%	84.6%	84.0%	5.6%	5.8%	6.1%	4.9%	4.9%
外国語	88.8%	87.8%	84.1%	87.1%	89.0%	2.1%	2.6%	6.1%	3.9%	3.2%
講義科目	76.1%	77.6%	80.8%	82.7%	81.8%	6.4%	6.3%	6.6%	5.6%	5.6%
演習科目	91.6%	93.1%	91.6%	93.9%	93.9%	1.4%	1.3%	2.9%	1.6%	1.7%
必修科目	72.7%	74.5%	75.9%	78.5%	79.3%	8.0%	7.7%	8.9%	7.3%	6.6%
選択科目	82.2%	82.6%	89.4%	91.7%	89.5%	4.1%	4.5%	3.1%	2.1%	2.9%



【設問 15～16の合計】



【設問 1、2、5、6、7、8、9、10、15、16合計の平均値】



## 7. 総合評点の度数分布

教員各自の総合評価の位置づけを知るために、度数分布と順位を示した。すなわち、評価を受けた全学教育科目の総合評点度数分布、最高値と最低値、該当科目数のうちの順位、たとえば、評価を受けた科目全体の数 ○○中 ○位 として、位置づけを明確にしている。また、教員の所属部局を文系・理系に分け、「アンケート実施科目全体」、「文系」または「理系」、並びに「当該科目区分」（第2章に記載した8科目区分）のそれぞれについて、総合評点の度数分布と順位を示した。

度数の幅は評点平均 0.1 でグラフとしている。幅の取り方と関連して、多少の凹凸があるが、いくつかの科目区分を除き、全体的にはおおむね正規分布のグラフとなっている。

〈所属部局による文系・理系区分〉 ※非常勤講師は除く

〈文系部局〉

文学研究院	学生相談総合センター
教育学研究院	スラブ・ユーラシア研究センター
法学研究科	観光学高等研究センター
経済学研究院	アイヌ・先住民研究センター
メディア・コミュニケーション研究院	高等教育推進機構
公共政策学連携研究部	大学院教育推進機構

〈理系部局〉

理学研究院	先端生命科学研究院
医学研究院	低温科学研究所
歯学研究院	電子科学研究所
薬学研究院	遺伝子病制御研究所
工学研究院	触媒科学研究所
農学研究院	情報基盤センター
獣医学研究院	総合博物館
水産科学研究院	北方生物圏フィールド科学センター
保健科学研究院	保健センター
情報科学研究院	数理・データサイエンス教育研究センター
地球環境科学研究院	人獣共通感染症リサーチセンター

### 「令和4年度授業アンケート」 評点平均の度数分布図

#### 評点平均の度数分布図

「令和4年度(第1学期及び第2学期通年分)全学教育科目に係る授業アンケート」集計表

部局名: 文学研究科・文学部  
授業形態: 講義

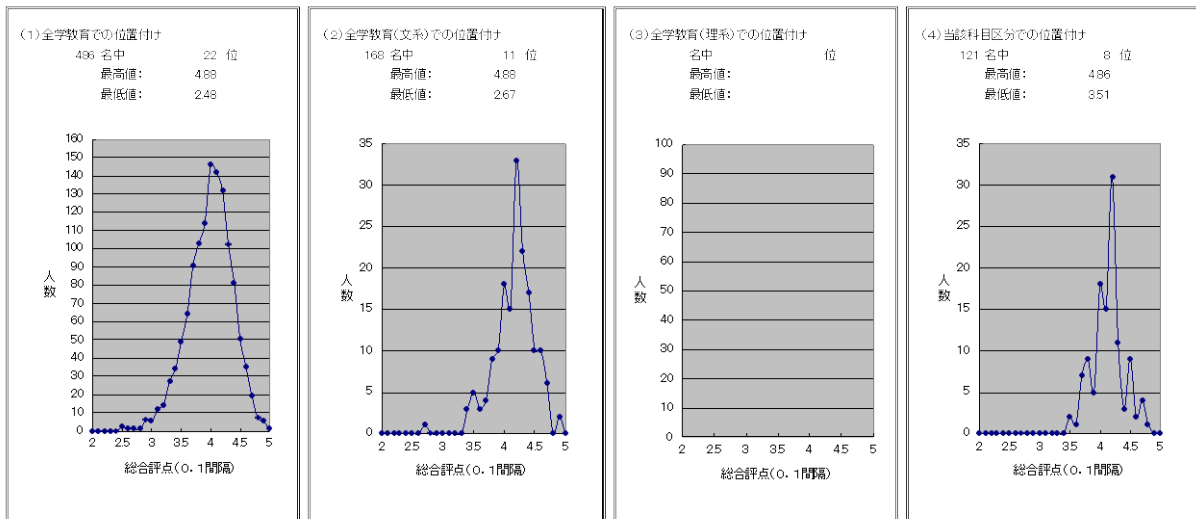
氏名: ●●●●  
科目区分: 全学教育科目(主題別科目)

科目名: 社会の認識(講義名: ●●●●●●●●●●)  
必修/選択: 選択

総合評点: 31  
登録学生数: 26~50人

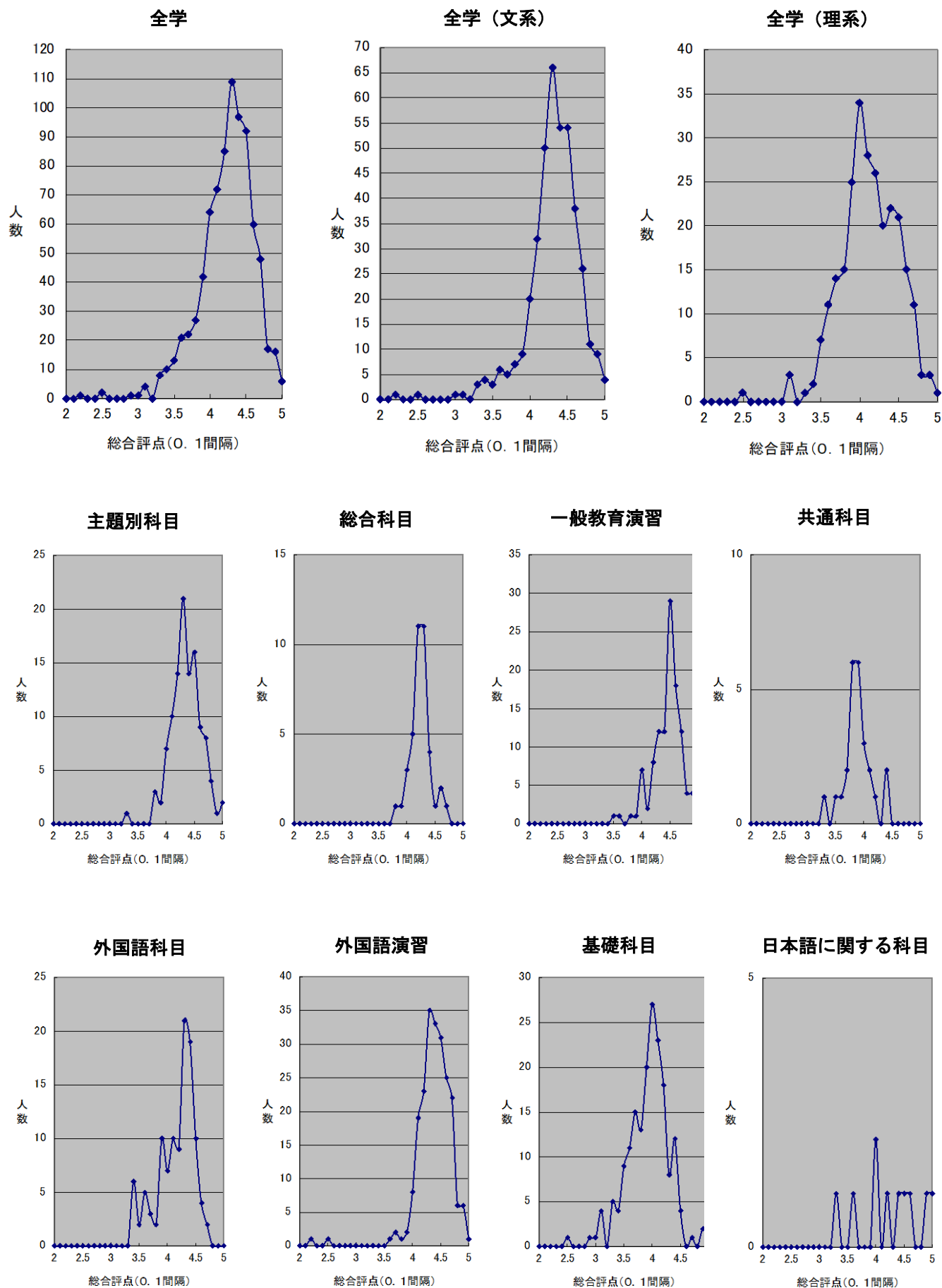
1. あらわの総合評点: 4.00

2. 総合評点の順位



所属部局: 文学研究科、教育学研究院、法学研究科、経済学研究院、メディア・コミュニケーション研究院、公共政策学連携研究部、スラブ・ユーラシア研究センター、観光学高等研究センター、アイヌ・先住民研究センター、  
人文学部、国際連携機構、高等教育推進機構、  
授業形態: 講義  
所属部局: 理学研究院、医学研究院、歯学研究院、薬学研究院、工学研究院、農学研究院、獣医学研究院、水産科学研究院、保健科学研究院、情報科学研究院、地球環境科学研究院、先端生命科学研究院、低温科学研究所、電子科学研究所、遺伝子病制御研究所、触媒科学研究所、情報基盤センター、総合博物館、北方生物圏フィールド科学センター、保健センター、数理・データサイエンス教育研究センター、人獣共通感染症リサーチセンター、  
所属部局: 理学研究院、医学研究院、歯学研究院、薬学研究院、工学研究院、農学研究院、獣医学研究院、水産科学研究院、保健科学研究院、情報科学研究院、地球環境科学研究院、先端生命科学研究院、低温科学研究所、電子科学研究院、  
遺伝子病制御研究所、触媒科学研究所、情報基盤センター、フィールド科学センター、人獣共通感染症リサーチセンター、保健センター、創薬研究機構

# 全学教育における度数分布図





**C 受講生の行動(1)**

		全体 平均	外国語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
11 この授業の自分の出席率は( )%程度であった。	100	69.55	69.10	69.16	71.23	71.04	67.84
	80	26.66	27.67	26.60	26.98	24.65	28.97
	60	2.71	1.71	2.98	1.49	2.79	2.61
	40	0.60	0.69	0.69	0.18	0.78	0.39
	20	0.48	0.82	0.57	0.12	0.74	0.19
	無回答	0.31	0.31	0.28	0.45	0.25	0.39
	平均値	4.64	4.64	4.63	4.69	4.64	4.64
12 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	5	22.09	29.81	18.95	35.90	19.35	25.23
	4	45.36	48.82	44.79	47.89	45.25	45.48
	3	22.63	16.57	24.79	13.07	24.19	20.83
	2	8.64	4.00	9.94	2.91	9.64	7.48
	1	1.29	0.81	1.53	0.24	1.57	0.98
	無回答	1.23	1.13	1.31	0.86	1.26	1.19
	平均値	3.78	4.03	3.70	4.16	3.71	3.87
13 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均( )であった。	4H以上	3.17	2.83	3.07	3.58	3.53	2.76
	3H	5.75	6.12	5.51	6.81	6.73	4.62
	2H	16.36	19.50	16.10	17.50	19.40	12.86
	1H	38.52	43.97	38.35	39.30	40.97	35.70
	30分以下	36.20	27.58	36.97	32.82	29.37	44.05
	無回答	0.28	0.31	0.23	0.51	0.21	0.36
	平均値	2.01	2.13	1.99	2.09	2.14	1.86
設問11~13の合計	5	31.63	33.92	30.43	36.91	31.34	31.96
	4	25.86	27.48	25.56	27.20	25.48	26.30
	3	13.87	12.58	14.59	10.68	15.43	12.08
	2	15.94	16.25	16.35	14.14	17.16	14.54
	1	12.70	9.76	13.07	11.07	10.59	15.11
	無回答	0.61	0.58	0.61	0.60	0.57	0.65
	平均値	3.48	3.60	3.44	3.65	3.50	3.45

**C 受講生の行動(2)**

	授業法 平均	学生 参加 平均	難易度						クラスサイズ(人)					
			A	B	C	D	E	無回答	25 以下	26 ~50	51 ~100	101 ~200	201 以上	
11 この授業の自分の出席率は( )%程度であった。	5	4.12	3.99	68.12	67.10	70.86	70.41	62.71	90.91	71.40	69.45	70.67	69.71	60.52
	4	4.05	3.88	25.61	28.83	25.79	26.22	27.12	9.09	26.81	26.32	25.12	26.30	34.39
	3	3.83	3.59	3.93	2.96	2.47	2.24	4.24	0.00	1.54	2.18	2.99	3.27	3.91
	2	3.53	3.41	1.51	0.73	0.43	0.51	1.69	0.00	0.17	0.99	0.64	0.46	0.87
	1	3.23	2.88	0.84	0.38	0.44	0.61	4.24	0.00	0.09	1.06	0.57	0.26	0.31
	無回答	2.17	1.96	0.42	0.25	0.11	0.31	0.00	52.17	0.40	0.43	0.26	0.20	0.37
	平均値	4.12	3.99	68.12	67.10	70.86	70.41	62.71	90.91	71.40	69.45	70.67	69.71	60.52
12 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	5	4.59	4.55	30.34	14.69	24.37	24.61	41.38	13.64	36.77	24.68	16.92	18.29	14.73
	4	4.10	3.99	28.22	45.51	47.68	42.84	22.41	45.45	46.88	47.26	43.82	45.31	45.25
	3	3.81	3.58	23.31	26.82	20.66	21.01	18.97	31.82	13.06	20.37	26.21	25.79	26.24
	2	3.64	3.35	13.05	11.60	6.52	9.99	12.07	9.09	3.06	6.41	11.15	9.68	12.08
	1	3.25	2.95	5.08	1.37	0.77	1.54	5.17	0.00	0.23	1.27	1.90	0.94	1.70
	無回答	3.15	2.58	1.67	1.18	0.98	1.22	1.69	52.17	0.71	1.55	1.09	1.55	1.73
	平均値	4.10	3.99	28.22	45.51	47.68	42.84	22.41	45.45	46.88	47.26	43.82	45.31	45.25
13 この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均( )であった。	5	4.18	4.28	15.69	3.12	1.99	1.02	3.39	0.00	3.71	3.24	2.51	4.99	1.36
	4	4.03	4.07	9.27	7.90	4.60	2.64	4.24	9.52	6.97	6.34	5.35	6.51	2.30
	3	4.06	4.02	21.20	20.02	14.80	8.75	7.63	23.81	17.36	18.52	17.92	13.09	9.49
	2	4.13	3.99	26.29	38.18	40.51	35.40	24.58	33.33	38.71	42.75	40.70	30.70	35.30
	1	4.06	3.80	27.55	30.80	38.10	52.19	60.17	33.33	33.26	29.15	33.52	44.71	51.55
	無回答	1.95	1.82	0.17	0.19	0.13	0.00	0.00	54.35	0.40	0.39	0.18	0.23	0.31
	平均値	4.18	4.28	15.69	3.12	1.99	1.02	3.39	0.00	3.71	3.24	2.51	4.99	1.36
設問11~13の合計	5	4.23	4.13	38.06	28.34	32.43	32.00	35.80	35.38	37.29	32.48	30.06	31.05	25.58
	4	4.08	3.96	20.99	27.35	25.96	23.82	17.90	21.54	26.86	26.56	24.71	25.95	27.22
	3	3.91	3.76	16.12	16.57	12.62	10.63	10.23	18.46	10.65	13.67	15.68	13.99	13.15
	2	4.03	3.87	13.63	16.86	15.85	15.34	12.78	13.85	13.99	16.76	17.52	13.63	16.11
	1	4.02	3.76	11.20	10.88	13.14	18.20	23.30	10.77	11.20	10.53	12.03	15.37	17.93
	無回答	2.80	2.36	0.75	0.54	0.41	0.51	0.56	52.90	0.50	0.79	0.51	0.66	0.80
	平均値	4.23	4.13	38.06	28.34	32.43	32.00	35.80	35.38	37.29	32.48	30.06	31.05	25.58



D 教育効果(1)

	10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 無回答	全体	外国語	講義科目	演習科目	必修科目	選択科目
		平均	平均	平均	平均	平均	平均
14 シラバスに記載されている到達目標は、( ) 割程度達成できた。	10	10.24	12.15	9.51	13.51	9.30	11.33
	9	15.56	18.15	14.17	21.75	13.92	17.44
	8	32.52	34.90	31.53	36.97	30.66	34.66
	7	23.31	21.21	24.28	19.02	23.88	22.65
	6	10.40	8.17	11.47	5.66	12.21	8.33
	5	5.07	3.59	5.69	2.31	6.22	3.75
	4	1.21	0.63	1.42	0.24	1.58	0.78
	3	0.96	0.60	1.11	0.30	1.27	0.62
	2	0.34	0.22	0.38	0.18	0.44	0.22
	1	0.19	0.13	0.23	0.03	0.29	0.08
	0	0.18	0.25	0.22	0.03	0.23	0.13
	無回答	0.48	0.60	0.40	0.83	0.42	0.54
	平均値	7.62	7.84	7.52	8.08	7.46	7.80

D 教育効果(2)

	10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 無回答	授業法 平均	学生参加 平均	難易度						クラスサイズ(人)				
				A	B	C	D	E	無回答	25以下	26~50	51~100	101~200	201以上
				14 シラバスに記載されている到達目標は、( ) 割程度達成できた。	10	4.49	4.36	15.62	5.01	11.46	15.83	32.48	9.09	14.17
	9	4.35	4.17	7.85	10.29	18.00	26.15	21.37	4.55	21.96	16.17	13.19	14.20	13.42
	8	4.17	4.02	15.54	27.54	36.88	34.12	18.80	40.91	36.22	34.42	29.01	33.85	33.73
	7	3.99	3.82	17.13	28.55	22.21	15.83	13.68	27.27	18.64	20.67	25.27	24.49	27.64
	6	3.74	3.64	17.38	16.09	7.32	5.52	5.13	13.64	5.75	9.85	12.47	11.02	11.37
	5	3.56	3.48	11.53	8.23	3.15	1.53	3.42	0.00	2.40	4.60	6.88	5.10	3.85
	4	3.34	3.31	4.34	2.18	0.46	0.31	0.85	0.00	0.29	0.89	1.96	0.96	0.99
	3	3.27	3.21	5.60	1.30	0.32	0.31	1.71	4.55	0.34	0.89	1.41	0.73	0.93
	2	2.99	2.92	1.92	0.54	0.08	0.31	0.00	0.00	0.17	0.33	0.49	0.26	0.25
	1	3.03	3.11	1.67	0.11	0.08	0.00	0.85	0.00	0.06	0.20	0.27	0.23	0.06
	0	2.28	2.35	1.42	0.15	0.05	0.10	1.71	0.00	0.00	0.43	0.20	0.07	0.25
	無回答	2.82	2.62	0.25	0.29	0.38	0.41	0.85	52.17	0.68	0.56	0.40	0.36	0.43

D 教育効果(3)

	5 4 3 2 1 無回答	全体	外国語	講義科目	演習科目	必修科目	選択科目
		平均	平均	平均	平均	平均	平均
15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。	5	26.35	30.53	23.37	39.53	21.17	32.28
	4	47.58	48.38	47.68	47.16	46.64	48.66
	3	17.87	14.94	19.67	9.90	21.53	13.66
	2	6.74	4.87	7.57	3.08	8.56	4.66
	1	1.47	1.27	1.72	0.33	2.11	0.73
	無回答	0.59	0.64	0.57	0.65	0.60	0.58
	平均値	3.91	4.02	3.83	4.22	3.76	4.07
16 授業は全体として満足できるものであった。	5	36.01	44.38	32.10	53.37	29.46	43.53
	4	48.03	44.60	49.72	40.55	49.85	45.93
	3	11.10	7.79	12.62	4.35	14.07	7.69
	2	3.64	2.34	4.14	1.41	4.83	2.27
	1	1.22	0.89	1.43	0.33	1.79	0.58
	無回答	0.59	0.58	0.52	0.86	0.57	0.60
	平均値	4.14	4.29	4.07	4.45	4.00	4.30
設問15~16の合計	5	31.18	37.46	27.74	46.45	25.31	37.91
	4	47.80	46.49	48.70	43.86	48.25	47.29
	3	14.48	11.37	16.14	7.12	17.80	10.67
	2	5.19	3.61	5.85	2.25	6.69	3.47
	1	1.35	1.08	1.57	0.33	1.95	0.66
	無回答	0.59	0.61	0.55	0.76	0.59	0.59
	平均値	4.02	4.16	3.95	4.34	3.88	4.18

D 教育効果(4)

	5 4 3 2 1 無回答	授業法 平均	学生参加 平均	難易度						クラスサイズ(人)				
				A	B	C	D	E	無回答	25以下	26~50	51~100	101~200	201以上
				15 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。	5	4.65	4.45	25.33	16.34	31.04	29.05	36.75	13.64	41.59
	4	4.10	3.94	27.17	47.40	50.00	49.75	29.91	31.82	45.48	47.83	47.00	48.72	52.06
	3	3.65	3.51	20.82	24.30	14.66	14.48	16.24	36.36	9.61	17.97	21.38	18.26	19.58
	2	3.30	3.34	15.80	10.47	3.96	5.71	8.55	9.09	2.89	5.96	8.97	6.46	7.42
	1	2.57	2.77	10.87	1.48	0.35	1.02	8.55	9.09	0.43	1.89	1.96	1.39	0.94
	無回答	3.01	2.84	0.33	0.53	0.45	0.20	0.85	52.17	0.60	0.66	0.53	0.53	0.80
	平均値	3.99	3.82	26.01	54.55	47.97	42.86	30.51	45.45	39.64	46.62	50.06	50.86	54.69
16 授業は全体として満足できるものであった。	5	3.29	3.31	21.73	17.17	7.07	9.08	13.56	18.18	4.47	10.16	14.61	11.82	10.63
	4	2.70	3.01	13.67	5.73	1.35	4.49	6.78	13.64	1.29	3.47	4.87	3.45	4.04
	3	2.70	3.01	13.67	5.73	1.35	4.49	6.78	13.64	1.29	3.47	4.87	3.45	4.04
	2	1.99	2.34	9.73	1.05	0.27	1.33	6.78	4.55	0.34	1.42	1.69	1.29	0.62
	1	2.98	2.93	0.87	0.52	0.42	0.31	0.00	52.17	0.74	0.82	0.47	0.69	0.49
	無回答	4.66	4.45	27.09	18.92	37.19	35.65	39.57	15.91	47.92	32.33	24.74	28.86	25.02
設問15~16の合計	4	4.05	3.88	26.59	50.97	48.98	46.30	30.21	38.64	42.56	47.23	48.53	49.79	53.38
	3	3.51	3.44	21.27	20.73	10.86	11.78	14.89	27.27	7.04	14.07	17.99	15.04	15.09
	2	3.09	3.22	14.74	8.10	2.65	5.10	7.66	11.36	2.09	4.72	6.92	4.96	5.73
	1	2.31	2.58	10.30	1.27	0.31	1.17	7.66	6.82	0.39	1.65	1.82	1.34	0.78
	無回答	3.00	2.89	0.50	0.52	0.44	0.25	0.42	52.17	0.67	0.64	0.50	0.61	0.65

全体集計1(1) アンケート回答数全体の平均

		全体 平均	外国語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
設問1~2, 5~10, 15~16の平均値	回答数	18,243	4,506	14,875	3,366	9,747	8,496
	平均値1	4.12	4.28	4.06	4.39	4.02	4.24
	標準偏差	0.4700	0.4157	0.4775	0.3926	0.4709	0.4202

全体集計1(2) 授業毎平均値の平均

		全体 平均	外国語 平均	講義 科目 平均	演習 科目 平均	必修 科目 平均	選択 科目 平均
設問1~2, 5~10, 15~16の平均値	授業数	806	327	472	333	347	459
	平均値2	4.22	4.30	4.11	4.40	4.04	4.36
	標準偏差	0.3703	0.3277	0.3657	0.2956	0.3639	0.3102

全体集計2

		職 (人)					授業の形態 (人)		必修・選択 (人)		アンケート 提出枚数 (枚)	
		教授	准教授	講師	助教	非常勤	講義	演習	必修	選択		
全 体		292	259	25	77	150	472	333	347	459	18,243	
外国語		74	127	0	29	95	110	217	154	173	4,506	
所 属 部 局	文学研究科	01	39	16	0	9	0	51	13	5	59	1,407
	教育学研究科	02	10	6	2	0	0	16	2	3	15	790
	法学研究科	03	12	4	0	8	0	19	5	4	20	592
	経済学研究科	04	7	6	1	3	0	13	4	2	15	479
	理学研究科	05	41	38	8	6	0	82	10	75	18	2,783
	医学研究科	06	5	2	1	5	0	2	11	0	13	198
	歯学研究科	07	3	2	0	1	0	3	3	0	6	226
	薬学研究科	08	2	4	2	0	0	5	3	4	4	257
	工学研究科	09	12	18	1	1	0	16	16	13	19	743
	農学研究科	10	6	5	1	0	0	6	6	4	8	256
	獣医学研究科	11	5	1	0	0	0	3	3	1	5	196
	水産科学研究科	12	6	1	0	0	0	5	2	0	7	394
	メディア・コミュニケーション研究科	13	75	118	0	19	0	76	136	103	109	2,702
	保健科学研究科	14	2	2	0	0	0	0	4	0	4	51
	情報科学研究科	15	8	6	0	0	0	8	6	4	10	583
	地球環境科学研究科	16	17	7	0	1	0	20	5	17	8	704
	先端生命科学研究所	17	3	1	1	1	0	4	2	3	3	169
	公共政策学連携研究部	18	4	1	0	0	0	4	1	1	4	116
	北海道大学病院	19										
	低温科学研究所	20	3	2	1	0	0	2	4	1	5	149
	電子科学研究所	21	3	2	0	6	0	9	2	7	4	360
	遺伝子制御研究所	22	2	0	0	0	0	1	1	0	2	83
	触媒科学研究所	23	3	0	0	0	0	2	1	1	2	43
	スラブ・ユーラシア研究センター	24	1	0	0	0	0	0	1	0	1	13
	情報基盤センター	25	2	3	0	0	0	4	1	3	2	227
	アイソトープ総合センター	26										
	量子集積エレクトロニクス研究センター	27										
	総合博物館	28										
	北方生物圏フィールド科学センター	29	5	3	0	0	0	1	7	0	8	50
	人獣共通感染症リサーチセンター	30	1	0	0	0	0	1	0	0	1	29
	大学図書館	31										
	観光学高等研究センター	32	1	0	0	0	0	1	0	0	1	16
	アイヌ・先住民研究センター	33										
	社会科学実験研究センター	34										
	環境健康科学研究教育センター	35										
	北極域研究センター	36										
	サステイナビリティ学教育研究センター	37										
	保健センター	38	1	0	0	0	0	1	0	0	1	62
	埋蔵文化財調査センター	39										
	人材育成本部	40										
	創成研究機構	41										
	数理・データサイエンス教育研究センター	42										
	高等教育推進機構	43	13	7	5	11	0	16	20	6	30	491
	安全衛生本部	44										
	産学・地域協働推進機構	45										
	国際連携研究教育局	46										
	学生相談総合センター	47	0	0	1	0	0	1	0	0	1	84
	総合IR室	48										
	大学院教育推進機構	49	0	4	1	6	0	5	6	2	9	457
	その他	98										
	非常勤講師 (全学教育科目)	99	0	0	0	0	150	95	58	88	65	3,533

全体集計3

設問	平均	全体平均				外国語平均			
		講義	演習	必修	選択	講義	演習	必修	選択
1	4.28	4.24	4.43	4.21	4.36	4.28	4.41	4.30	4.41
2	4.32	4.29	4.45	4.26	4.39	4.30	4.42	4.33	4.41
3	4.17	4.14	4.33	4.10	4.25	4.18	4.35	4.19	4.39
4	4.03	3.97	4.27	3.88	4.20	4.05	4.29	4.09	4.31
5	3.99	3.91	4.30	3.87	4.12	4.13	4.30	4.14	4.35
6	4.21	4.15	4.46	4.08	4.36	4.25	4.44	4.26	4.48
7	4.12	4.06	4.38	3.99	4.27	4.22	4.37	4.23	4.40
8	3.86	3.74	4.40	3.76	3.98	4.24	4.41	4.26	4.43
9	4.15	4.09	4.41	4.09	4.22	4.27	4.39	4.27	4.42
10	4.20	4.16	4.39	4.12	4.29	4.18	4.37	4.21	4.38
15	3.91	3.83	4.22	3.76	4.07	3.91	4.15	3.92	4.22
16	4.14	4.07	4.45	4.00	4.30	4.17	4.43	4.19	4.48
平均	4.11	4.06	4.38	4.01	4.23	4.18	4.36	4.20	4.39
11	4.64	4.63	4.69	4.64	4.64	4.62	4.66	4.62	4.66
12	3.78	3.70	4.16	3.71	3.87	3.94	4.13	3.97	4.15
13	2.01	1.99	2.09	2.14	1.86	2.16	2.08	2.17	2.05
平均	3.48	3.44	3.65	3.50	3.45	3.57	3.62	3.58	3.62